

# 小学生 1 ~ 3 年生調査

## 1 . 回答者の属性

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに をつけてください。

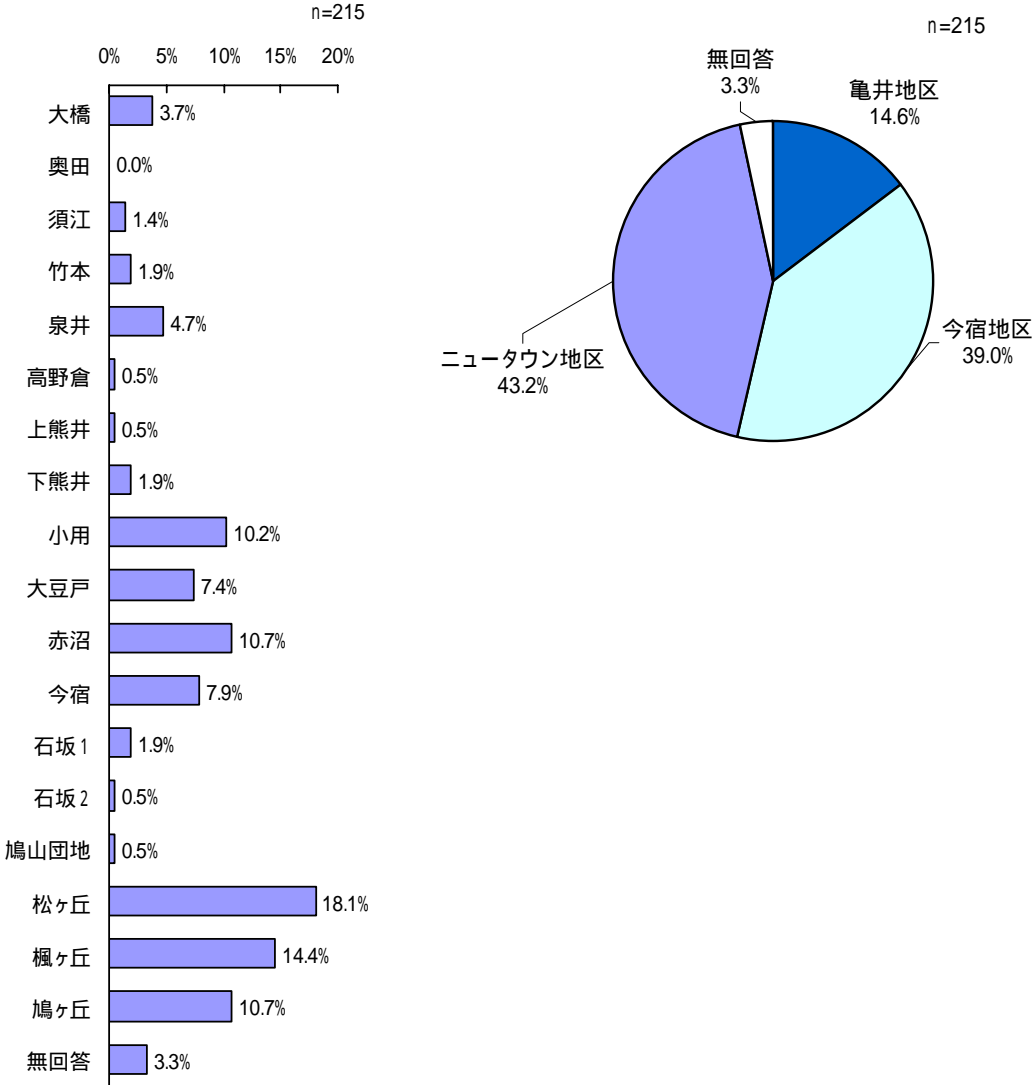
住まいの地域については、18地区を下記のように3地区にまとめた。

亀井地区... 大橋、奥田、須江、竹本、泉井、高野倉、上熊井、下熊井

今宿地区... 小用、大豆戸、赤沼、今宿、石坂1、石坂2、鳩山団地

ニュータウン地区... 松ヶ丘、楓ヶ丘、鳩ヶ丘

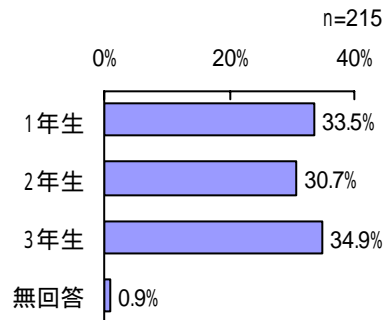
ニュータウン地区 43.2%、今宿地区 39.0%、亀井地区 14.6%である。



( 2 ) 児童の学年

**問2 宛名のお子さんは小学何年生ですか。当てはまる答えの番号1つに をつけてください。**

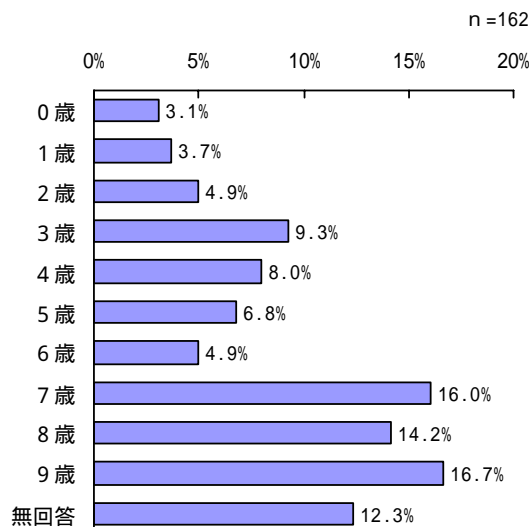
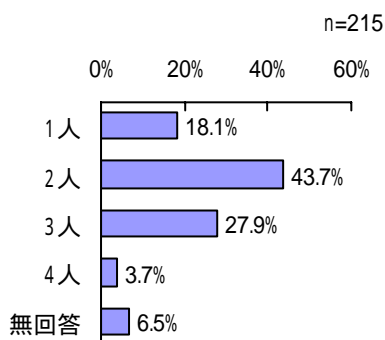
「3年生」34.9%、「1年生」33.5%、「2年生」30.7%の順であるが、ほぼ同程度である。  
 地区別では、ニュータウン地区は「3年生」39.8%、「1年生」32.3%、「2年生」28.0%  
 の順であり、今宿地区は、「1年生」35.7%、「3年生」33.3%、「2年生」31.0%、亀井地区  
 は、「2年生」45.2%、「1年生」32.3%、「3年生」22.6%である。



( 3 ) きょうだいの人数

**問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を ( ) 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。**

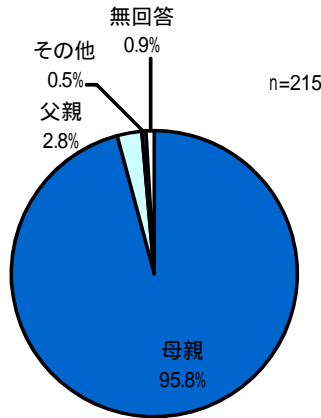
きょうだいの数は「2人」43.7%、「3人」27.9%、「1人」18.1%、「4人」3.7%である。  
 末子の年齢は、「7歳」以上との回答がいずれも1割台と乳幼児に比べて多くなっている。



(4) 回答者

**問4** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

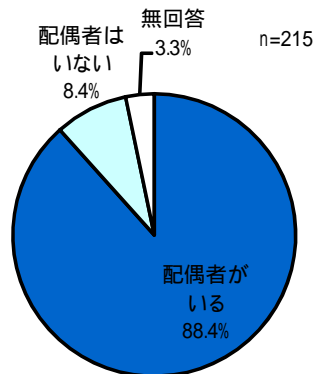
回答者は、「母親」が大半の95.8%である。



(5) 回答者の配偶関係

**問5** この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。(問4で「3.その他」と回答した方は回答不要です)

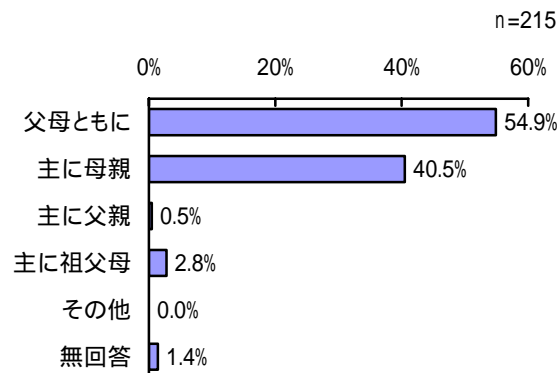
回答者に「配偶者がいる」が88.4%、「配偶者がいない」は8.4%である。



(6) 子育てを主に行っている人

**問6** 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに をつけてください。

子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が54.9%、「主に母親」が40.5%であり、「主に祖父母」2.8%、「主に父親」0.5%である。

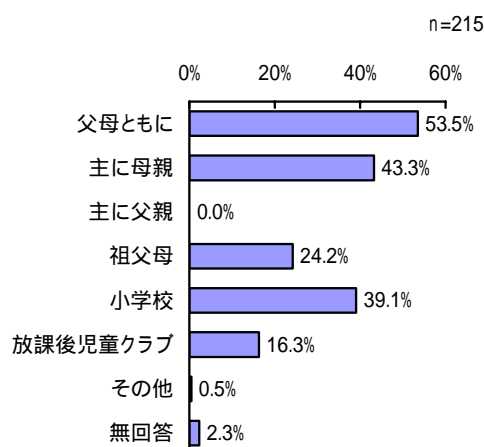


## 2. 子どもの育ちをめぐる環境

### (1) 子育てに日常的に関わる人・施設

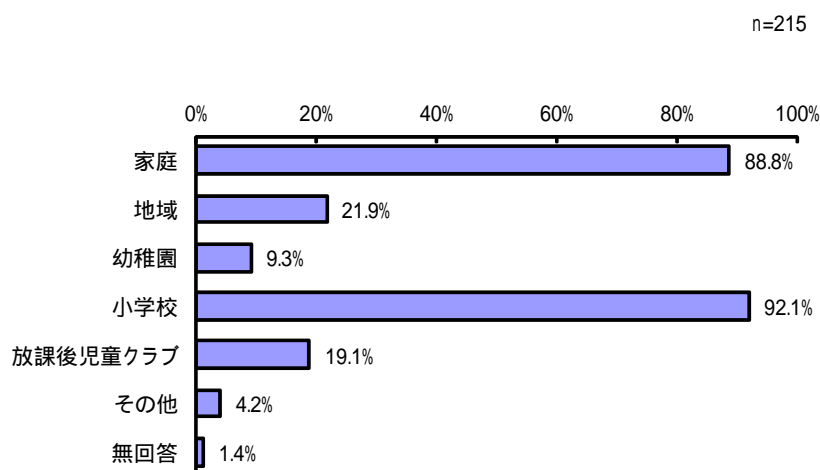
**問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに をつけてください。**

子育てに日常的に関わっているのは、「父母ともに」53.5%、「主に母親」43.3%、「小学校」39.1%、「祖父母」24.2%と、「放課後児童クラブ」16.3%である。



**問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに をつけてください。**

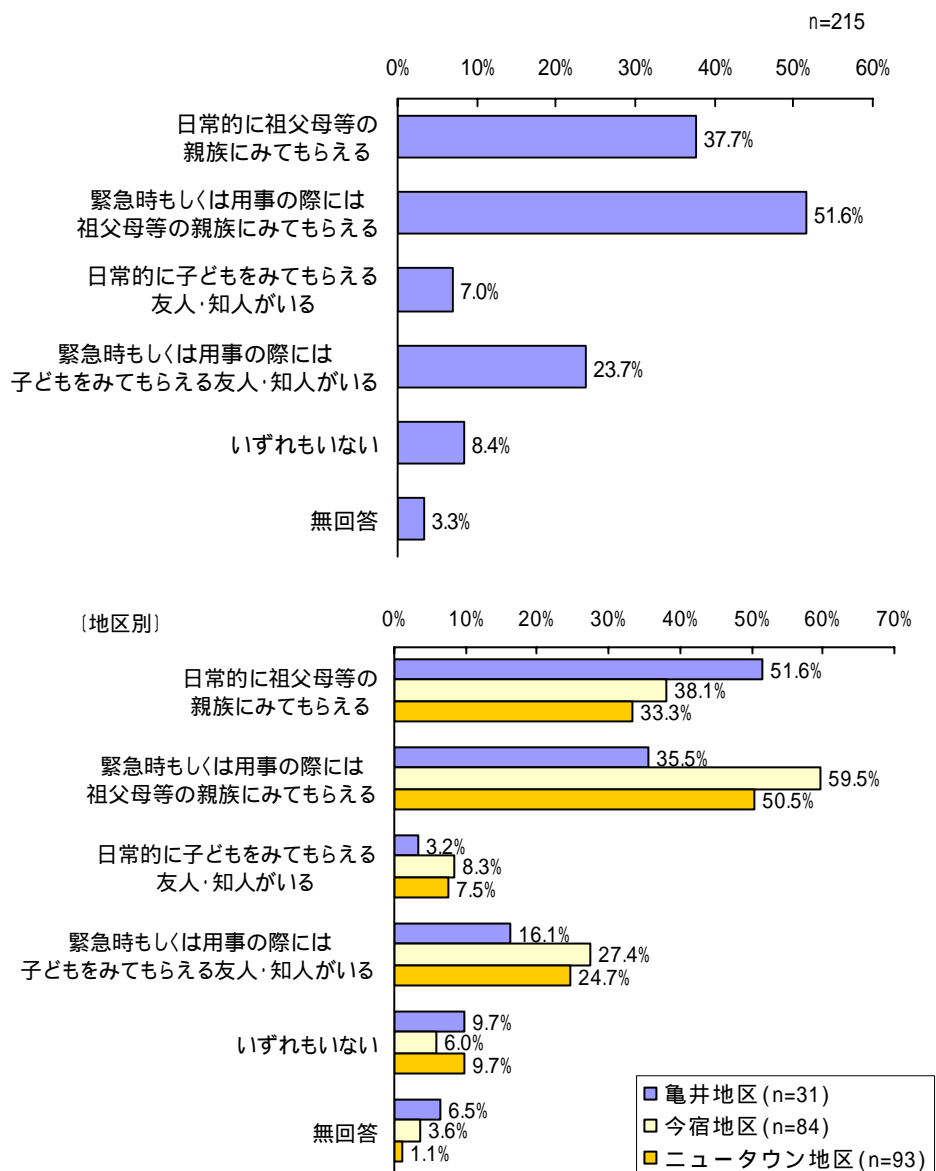
子育てに影響すると思う環境は、「小学校」92.1%が「家庭」88.8%をやや上回り、この2項目が大半を占める。次いで、「地域」21.9%、「放課後児童クラブ」19.1%などが続き、「幼稚園」は9.3%と少ない。



**問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてにつけてください。**

子どもをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」51.6%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」37.7%と親族が上位である。友人・知人については、「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる友人・知人がいる」が23.7%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は7.0%にとどまる。また、「いずれもない」は8.2%である。

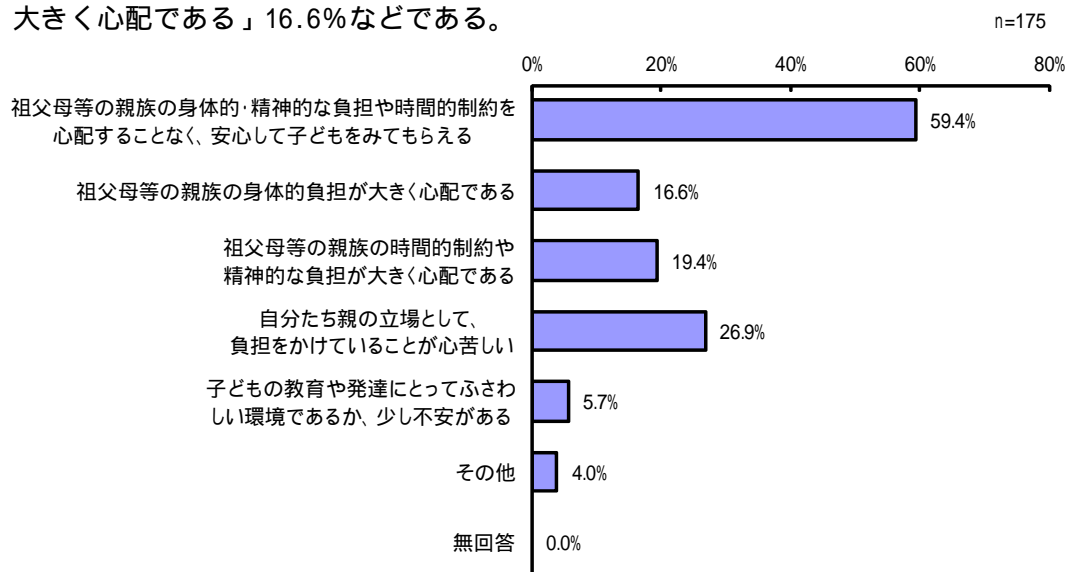
地区別では「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は亀井地区が51.6%と今宿地区の38.1%、ニュータウン地区の33.3%を大きく上回るが、「もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は今宿地区59.5%及びニュータウン地区50.5%が亀井地区の35.5%を上回る。また、友人・知人については、今宿地区及びニュータウン地区が亀井地区を上回る。



問9で「1.」または「2.」に をつけた方にうかがいます。

**問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。**

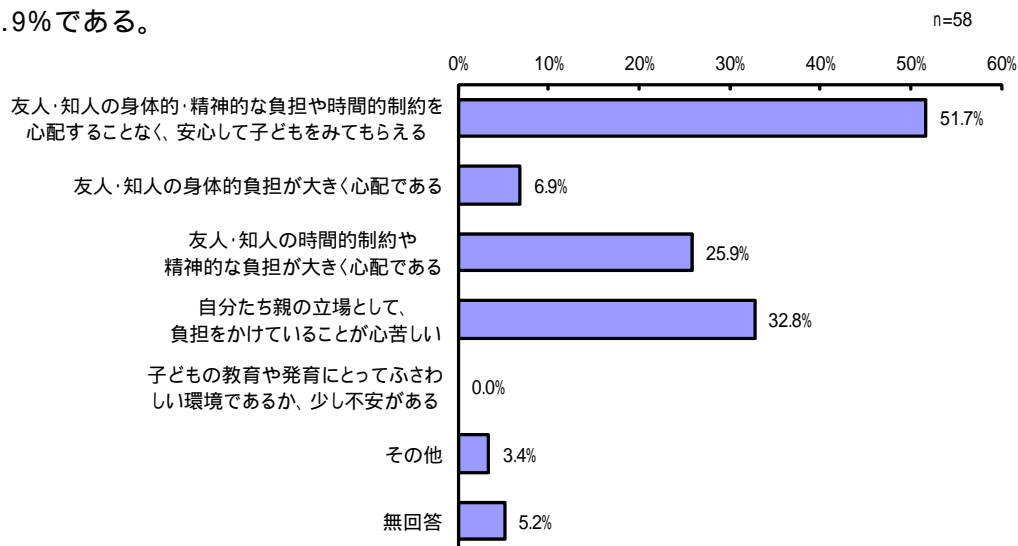
親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が59.4%、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」26.9%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」19.4%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」16.6%などである。



問9で「3.」または「4.」に をつけた方にうかがいます。

**問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。**

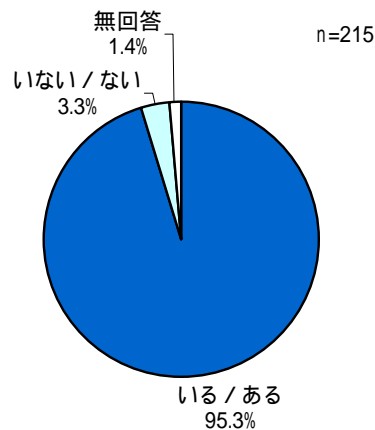
友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」51.7%、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」32.8%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」25.9%、「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」6.9%である。



すべての方にうかがいます。

**問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。**

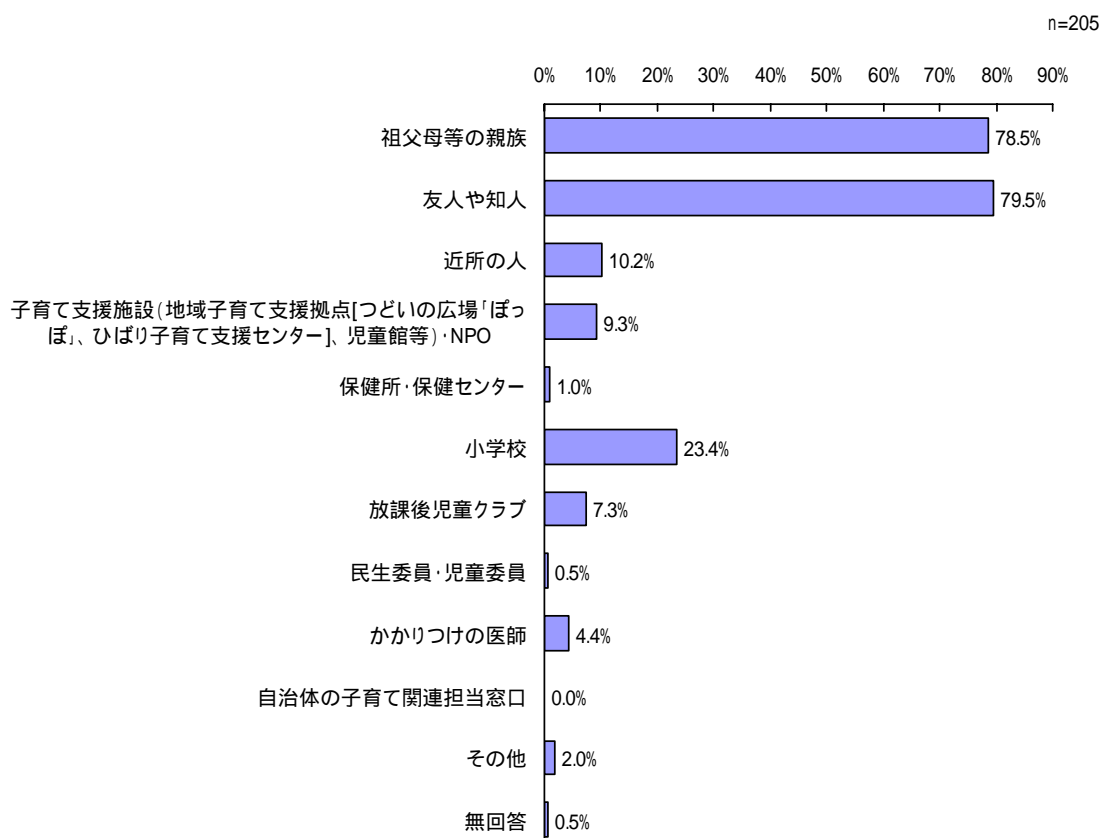
子育てをする上で、気軽に相談できる人や場が「いる / ある」は95.3%と大半である。



問 10 で「1. いる / ある」に をつけた方にうかがいます。

**問 10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。**

気軽に相談できる先は「友人や知人」79.5%と「祖父母等の親族」78.5%がほぼ同程度である。次いで、大きく差があり「小学校」23.4%、「近所の人」10.2%、「子育て支援施設・NPO」9.3%などである。



すべての方にうかがいます。

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な意見の抜粋

〔緊急時や休日の一時預かりサービスについて〕

- ・急な用事や仕事などで、どうしても子供を誰かに見てもらいたいときに、安心して預けられる施設やサポートがあるといいなと思います。自分（母）の両親等の親族は遠くに住んでいますし、友人も頼めば引き受けてくれるとは思いますが、何時までとか、色々都合を合わせてもらうのにも気がつかってしまいます。町や県でそのような急な時にサポートをしてもらえたらと、希望します。
- ・土日両親が仕事です。土日に預かっていただける施設を希望します。
- ・学童ではなく、子供をみてもらえる場所（有料でよいが、高額はダメ）。旧松栄小のグラウンドや校舎をもう少し有効活用していただきたい。
- ・学童の利用を単発でも受け入れてもらえるとうれしいです。現在は、登録者のみなので、緊急時にどうしても頼れる人がいなかった場合サポートして頂きたいです。

〔気軽な相談や交流機会の充実〕

- ・同学年の保護者の方と、子供の家庭学習の様子などを気軽に話し合える場を設けてほしい。（宿題をどの様に取り組んでいるかなど聞きたい）
- ・プライバシー、個人情報もしっかり守られ、安心して相談にのってもらえる環境。
- ・放課後に小学生が集まれる児童館のような場所があり、宿題をみてくれたり、話ができる場所があればいいと思う。

〔子どもの多様な体験や遊びの機会充実〕

- ・土日や夏休み等に、同年代の複数の子どもたちと一緒に預けられるサポート（例えば、のびのび鳩山やわんぱく学級など）がもっとあればいいと思う。
- ・母親である私がこの町で育ったのもありますが、当時は子どもが沢山いたので公園も活気がありました。今は近所にある三角公園も荒地のようになっていて、遊びに行かせたい場所ではなくなっています。子どもたちの遊び場所が活気づくようなサポートがあったらとてもありがたいです。

〔子育て支援サービスの充実〕

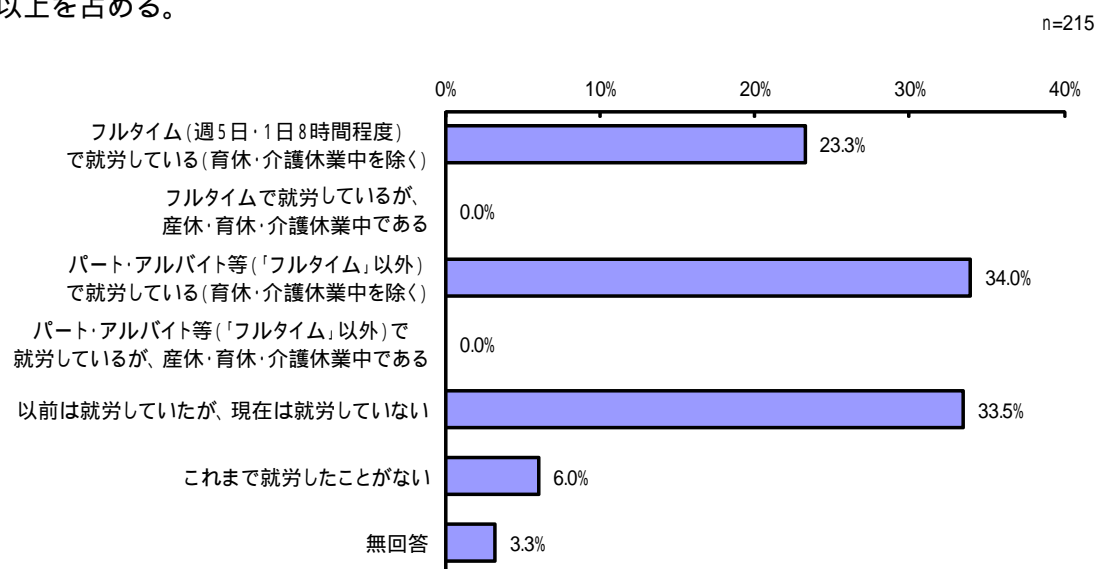
- ・子育てサポートシステムとして（親のかわりに保育園に迎えに行ってくれたり、習い事に送り迎えしてくれたり）時給 円とかでそのサポートシステムに登録してお互いに利益があるようなシステムをつくってほしい。あれば利用したい。



### 3 . 保護者の就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 (1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに をつけてください。

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労している」34.0%と「以前は就労していたが、現在は就労していない」33.5%が同程度である。次いで、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労している」23.3%であり、就労している人は半数以上を占める。



(1)で「1」から「4」(就労している)のいずれかに つけた方にうかがいます。

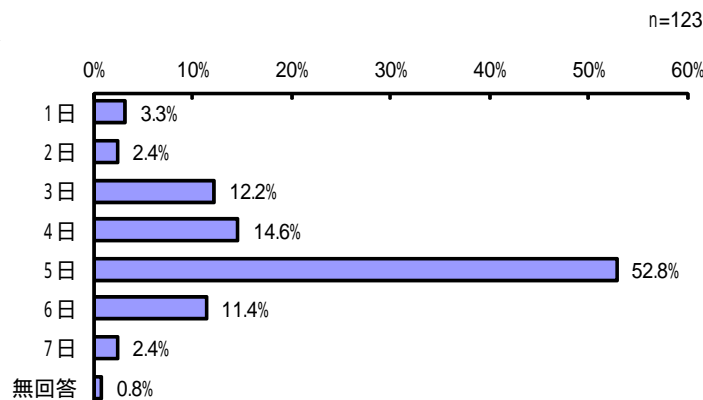
(1)-1 現在の就労日数、就労時間などの就労条件をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず (例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。(( )内に数字でご記入ください。)

1週あたりの就労日数は「5日」が約半数、次いで「4日」「3日」などである。1日あたりの就労時間は「8時間」が最も多く、次いで「5時間」「6時間」などである。

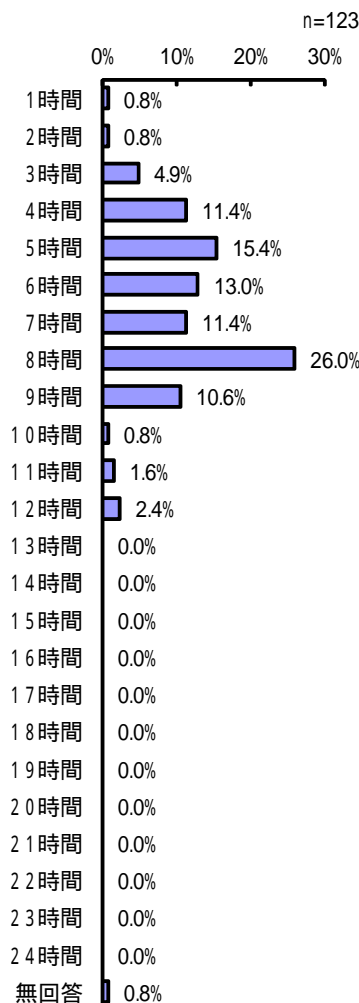
家を出る時刻は、「8時」が最も多く、「9時」「7時」と続く。

帰宅時刻は「18時」が最も多く、「15時」「14時」などである。

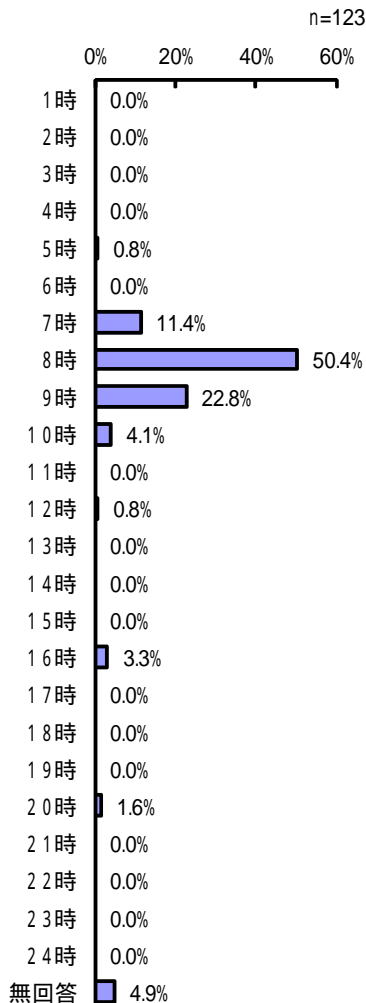
1週あたり就労日数



1日あたり就労時間



家を出る時刻

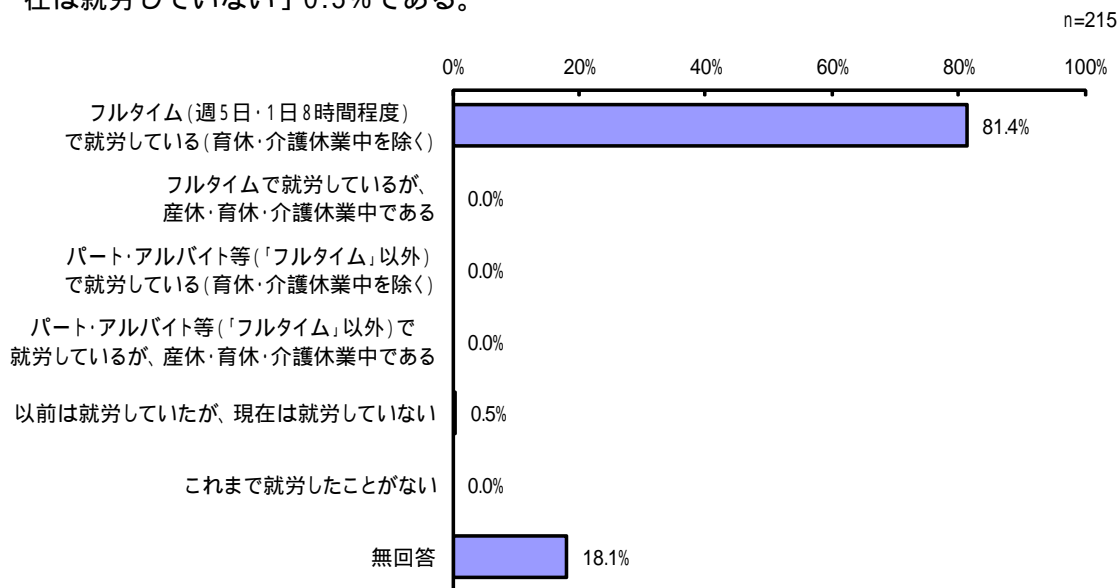


帰宅時刻



**(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに つけてください。**

父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が81.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」0.5%である。



**(2) で「1」から「4」(就労している)のいずれかに つけた方にうかがいます。**

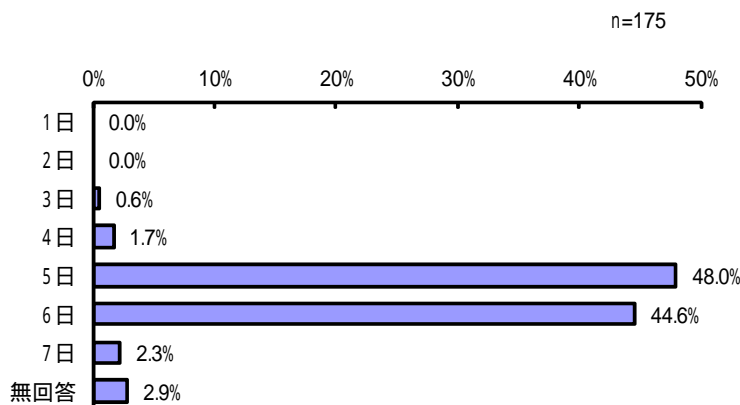
**(2)-1 現在の就労日数、就労時間などの就労条件をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。(( )内に数字でご記入ください。)**

1週あたりの就労日数は「5日」「6日」が同程度である。1日あたりの就労時間は「10時間」が最も多く、次いで「8時間」21.1%などである。

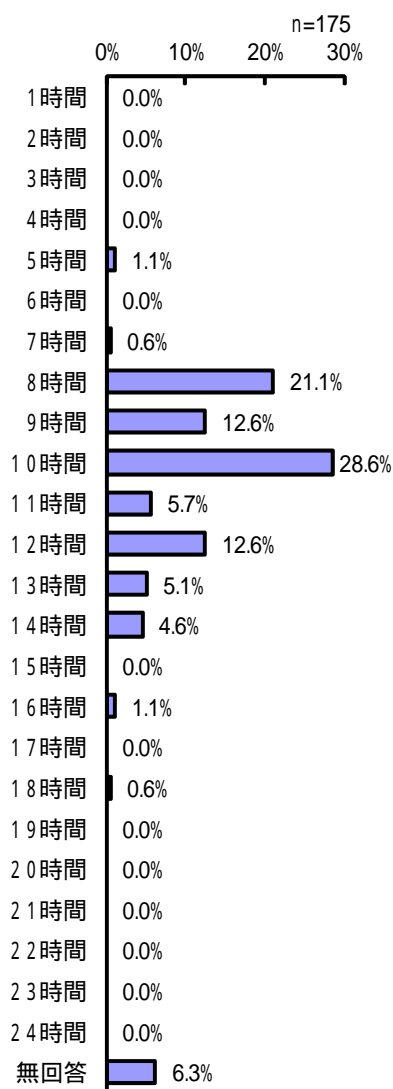
家を出る時刻は、「7時」「8時」「6時」の順である。

帰宅時刻は「20時」「21時」「19時」などである。

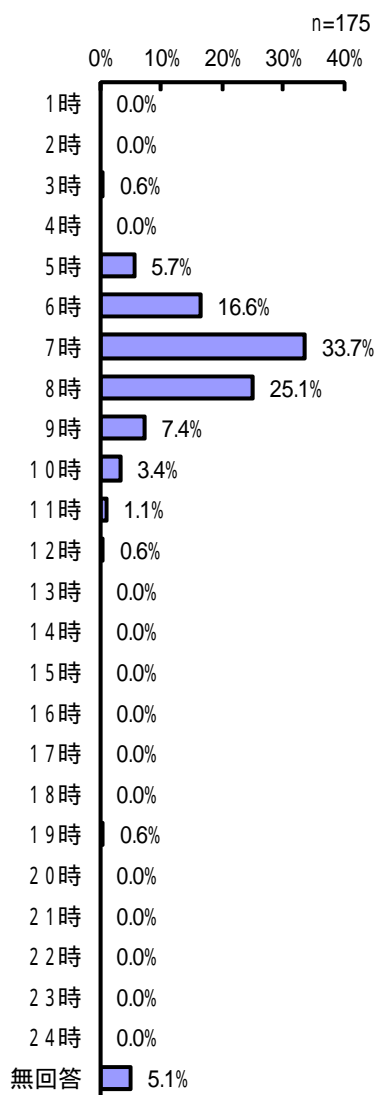
1週あたり就労日数



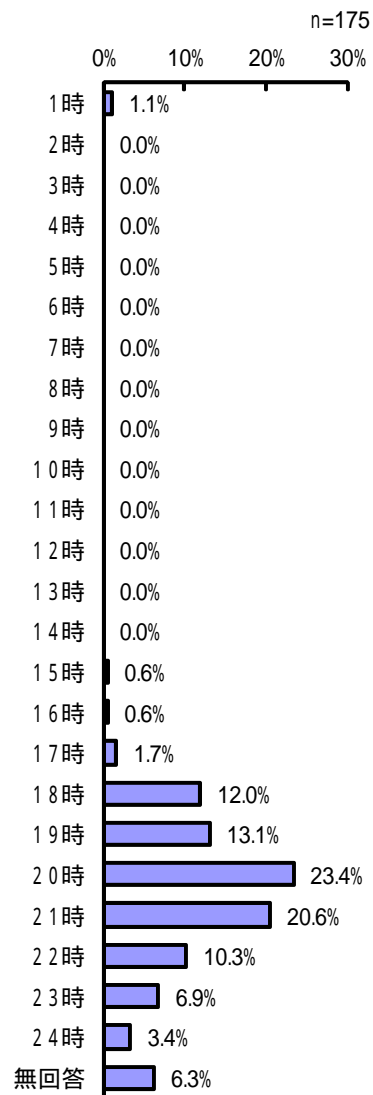
1日あたり就労時間



家を出る時刻



帰宅時刻

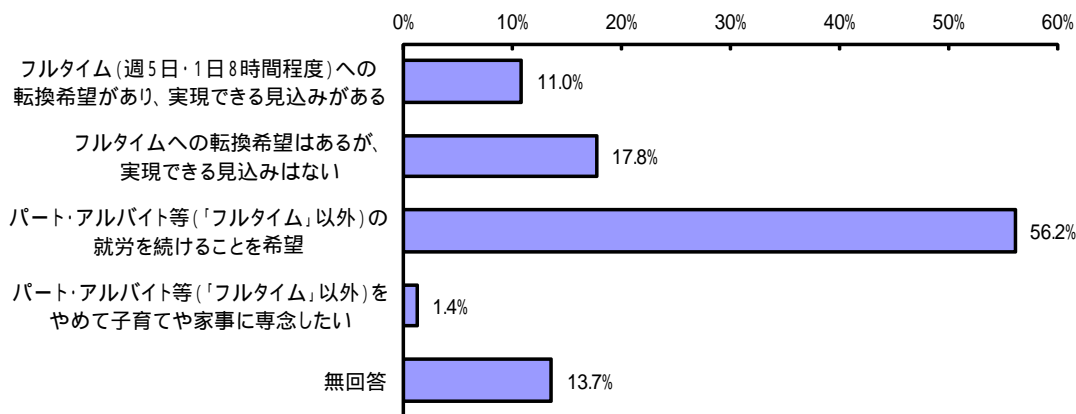


問 12 の ( 1 ) または ( 2 ) で「 3. 」か「 4. 」(パート・アルバイト等で就労している) につけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

**問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。**

母親のフルタイムへの転換希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」56.2%が半数以上を占める。次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」17.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」11.0%と続く。  
n=73

父親の回答者はゼロである。

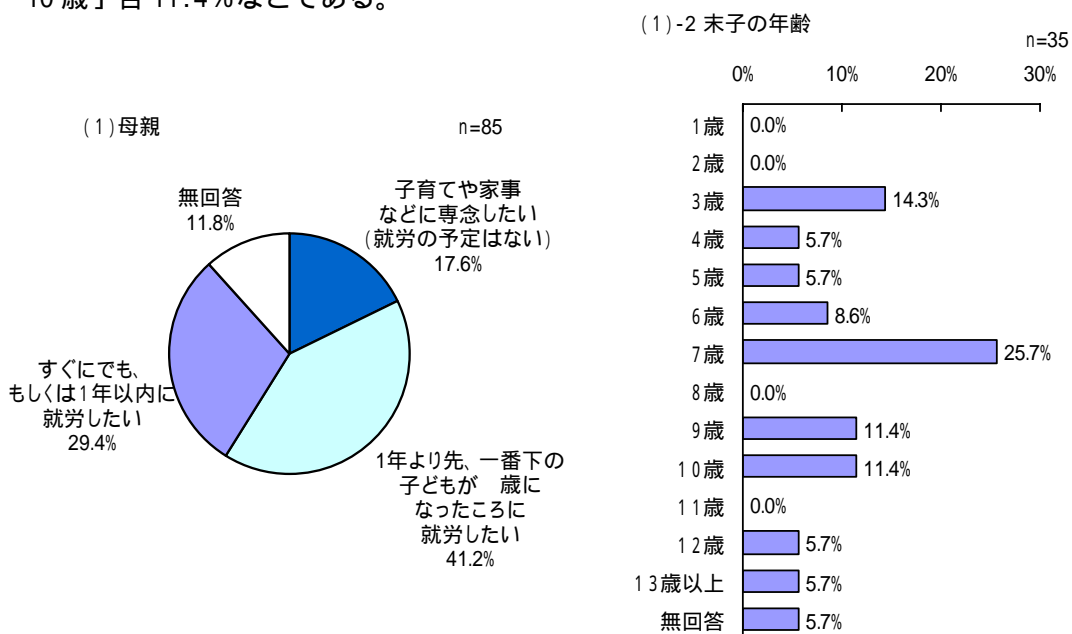


問 12 の ( 1 ) または ( 2 ) で「 5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「 6.これまで就労したことがない」に つけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

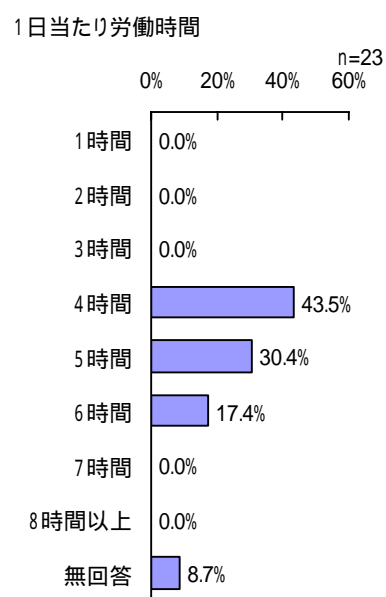
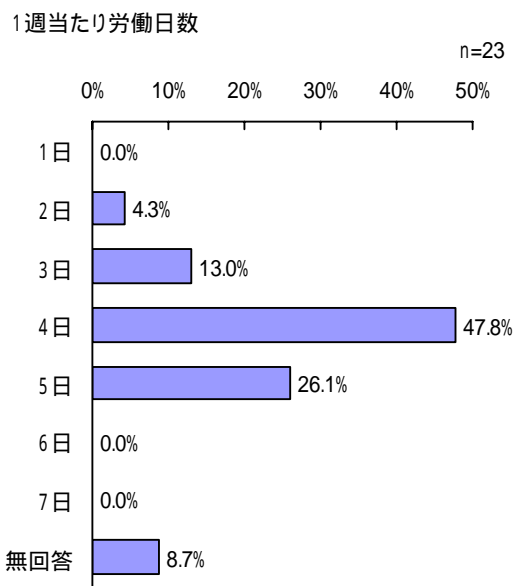
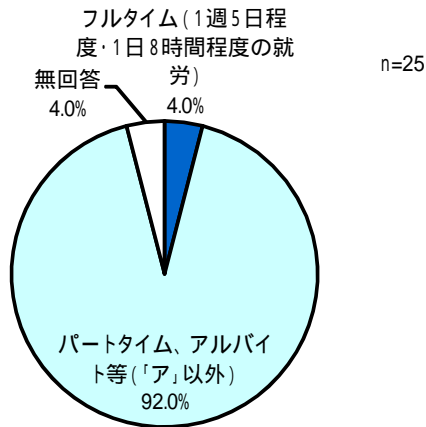
**問 14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに をつけ、該当する ( ) 内には数字をご記入ください。**

就労していない母親に就労希望を聞いたところ、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」が41.2%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」29.4%、「子育てや家事などに専念したい」17.6%である。

子どもが何歳くらいで就労したいかについては、「7歳」25.7%、「3歳」14.3%、「9歳」「10歳」各11.4%などである。



また、希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が92.0%と大半を占め、「フルタイム」はわずか4.0%である。1週当たりの就労日数は「4日」が最も多く、次いで「5日」「3日」などであり、1日当たり就労時間は「4時間」「5時間」「6時間」の順である。



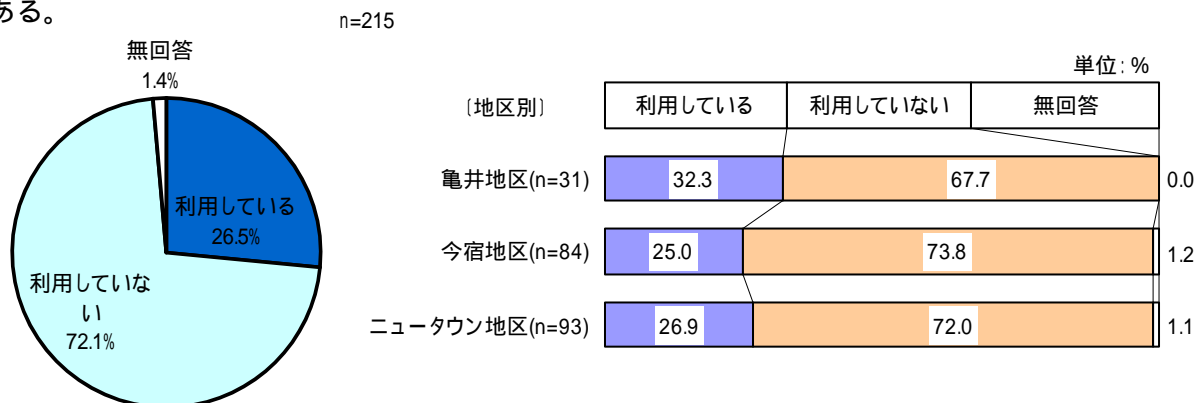
就労していない父親についても同様の質問をしているが、回答者は1人であるため、分析は及びグラフは省略する。

## 4. 放課後児童クラブの利用状況

問 15 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用されていますか。当てはまる番号 1 つをつけてください。

放課後児童クラブの利用は、「利用している」26.5%、「利用していない」72.1%であり、「利用している」は4人に1人程度となっている。

地区別の「利用している」は、亀井地区 32.3%、ニュータウン地区 26.9%、今宿地区 25.0%である。



問 15-1 ~ 問 15-2 は、問 15 で「1.利用している」に つけた方にかがいます。

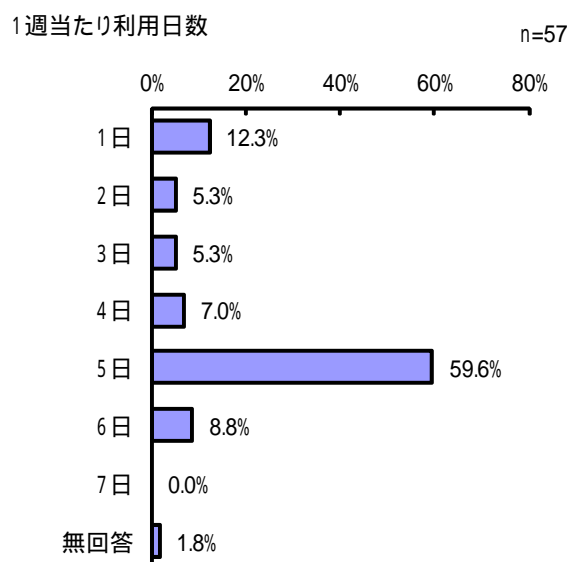
問 15-1 放課後児童クラブをどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）小学何年生まで利用したいかを、( ) 内に具体的な数字でご記入ください。時刻は、必ず（例）9 時 ~ 18 時のように 24 時間制でご記入ください。

現在の利用状況

現在の 1 週当たりの利用は、「5 回」が約 6 割、次いで「1 日」「6 日」「4 日」などである。

1 日当たりの時間は「3 時間」「2 時間」「4 時間」と続くが、「8 時間」「10 時間」との回答もみられる。

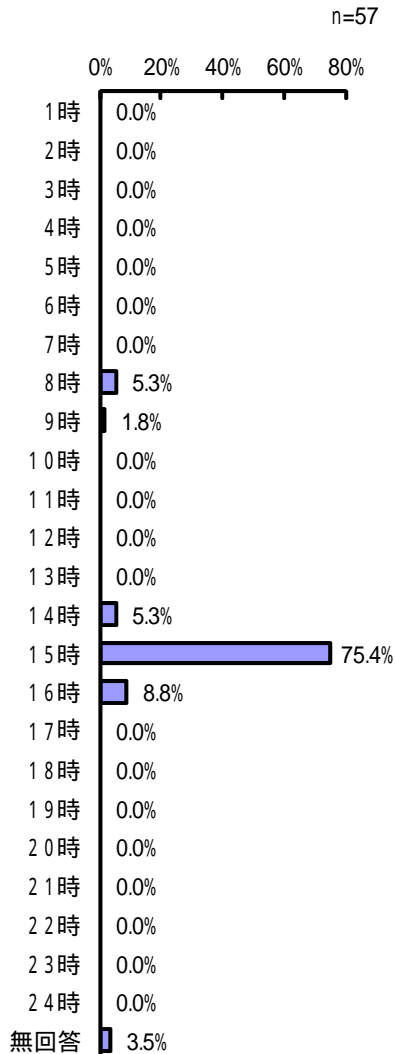
開始時刻は、「15 時」が大半であるが、「14 時」「16 時」なども少数でみられる。終了時刻は、「18 時」が最も多く、次いで「17 時」などである。



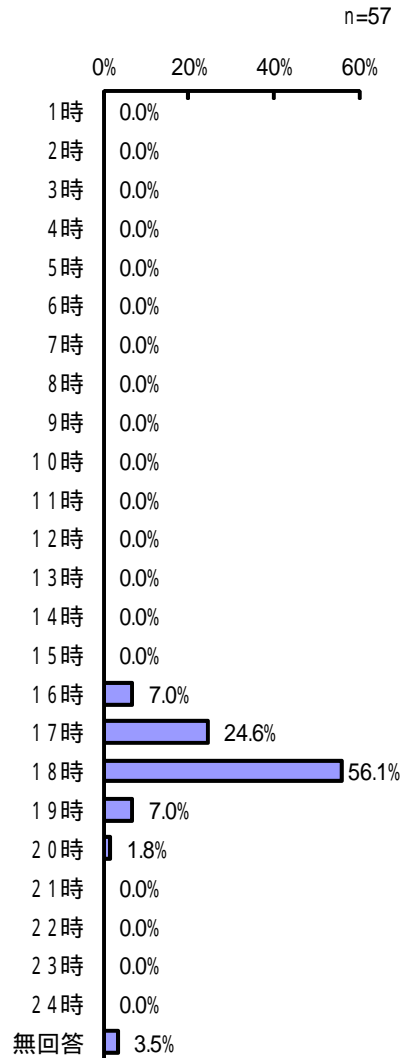
1日当たり利用時間



利用開始時刻



利用終了時刻



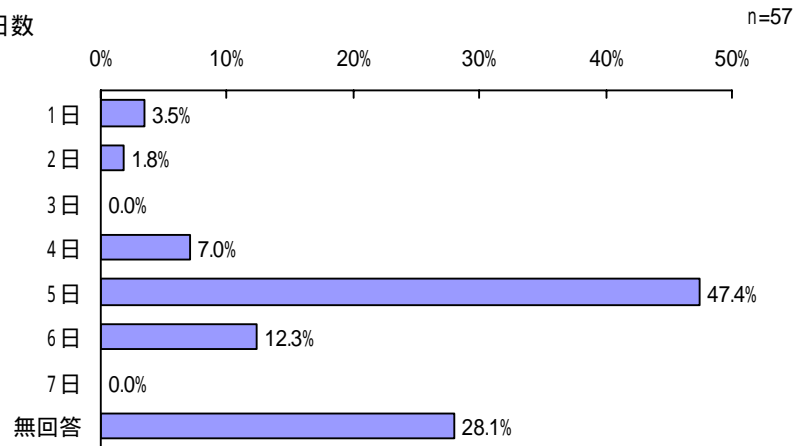


### 希望の利用状況

希望については、1週当たり「5回」47.4%、「6日」「4日」などであり、「6日」は現在を上回る。1日当たりの時間は「3時間」「2時間」「4時間」などである。

開始時刻は「15時」、終了時刻は、「18時」が最も多い。

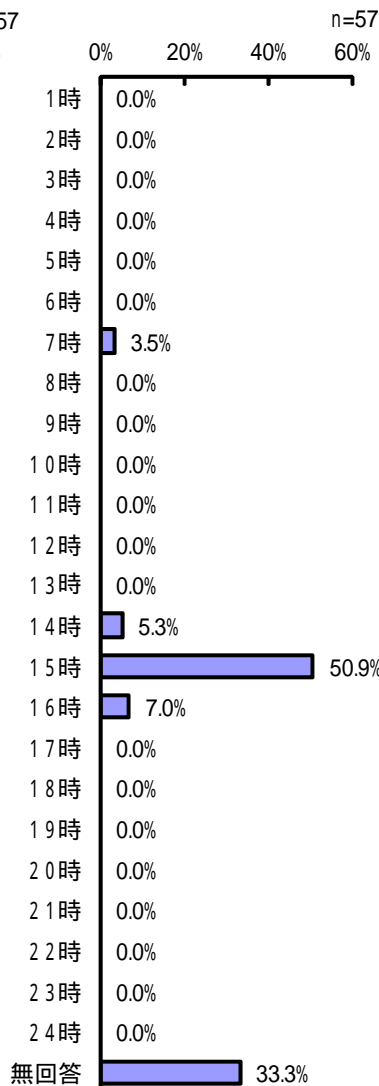
1週当たり利用日数



1日当たり利用時間



利用開始時刻

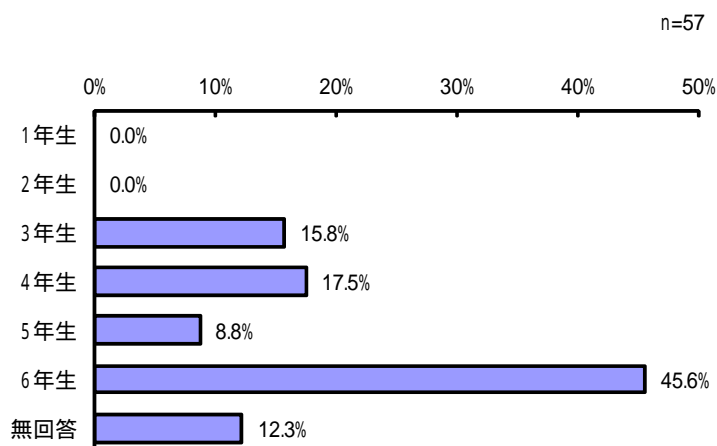


利用終了時刻



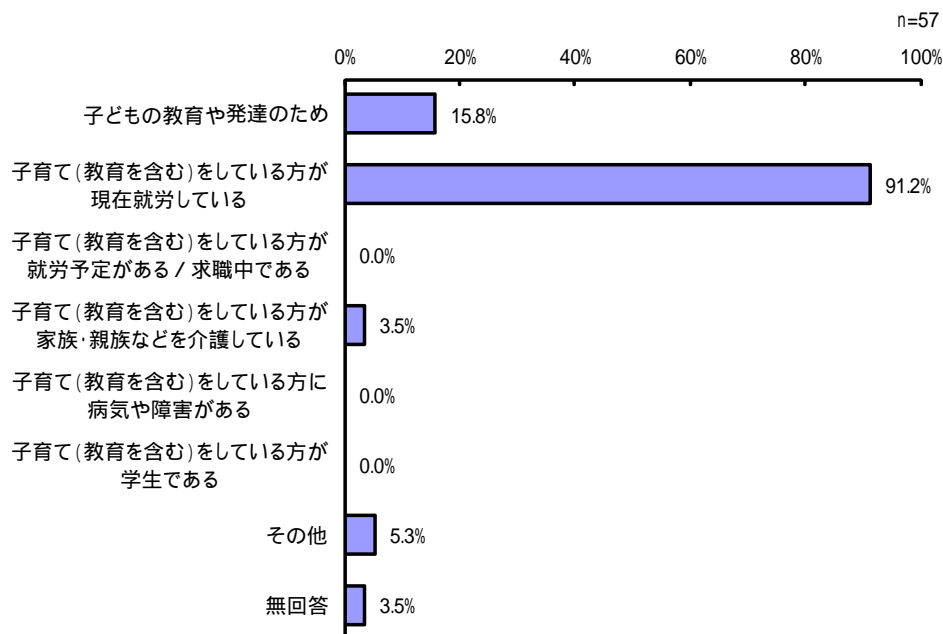
また、何年生まで利用したいかについては、「6年生」が45.6%、次いで「4年生」17.5%、「3年生」15.8%、「5年生」8.8%である。

何年生まで利用したいか



**問 15-2 放課後児童クラブを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。**

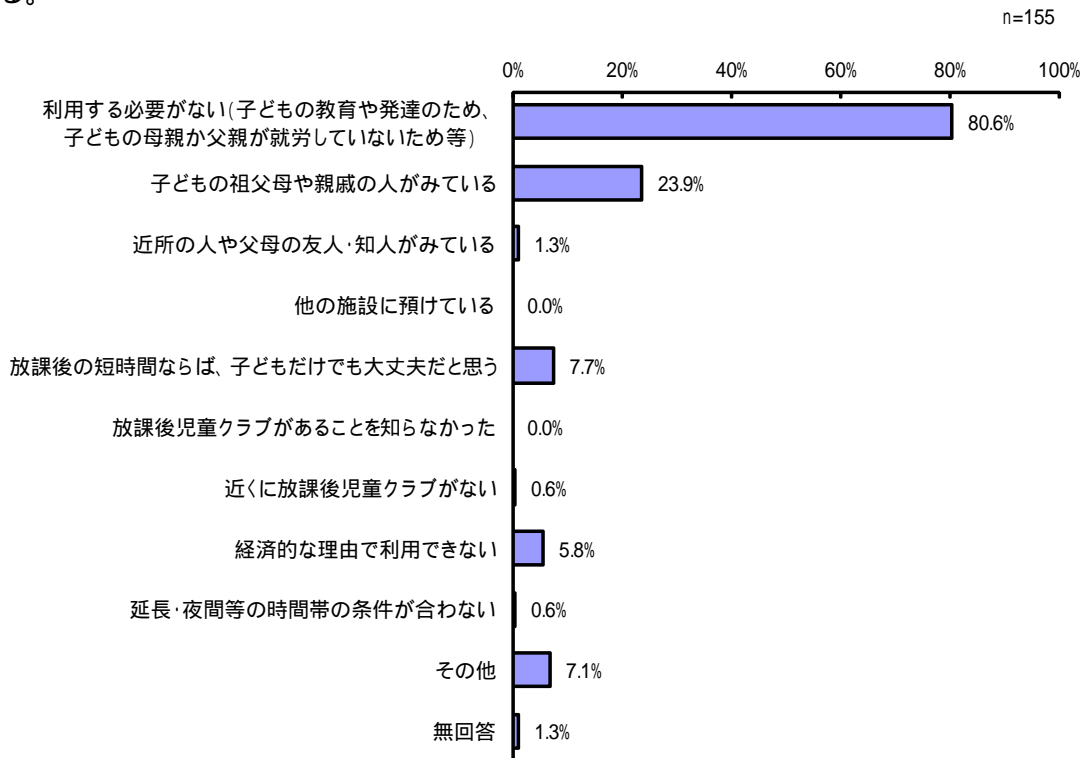
利用している理由は、「現在就労している」91.2%が大半であり、「子どもの教育や発達のため」15.8%、「家族・親族などを介護している」3.5%である。



問 15-3～問 15-5 は、問 15 で「 2 .利用していない」に つけた方にうかがいます。

**問 15-3 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに をつけてください。**

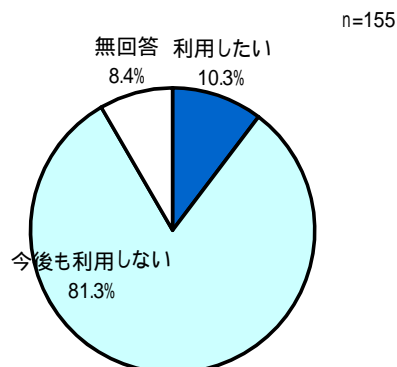
利用していない理由は、「利用する必要がない」80.6%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」23.9%、「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」7.7%などである。



**問 15-4 宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブをどのくらい利用したいとお考えですか。あてはまる番号1つに をつけてください。利用したい場合、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)、小学何年生まで利用したいかを、( )内に具体的な数字でご記入ください。時刻は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。**

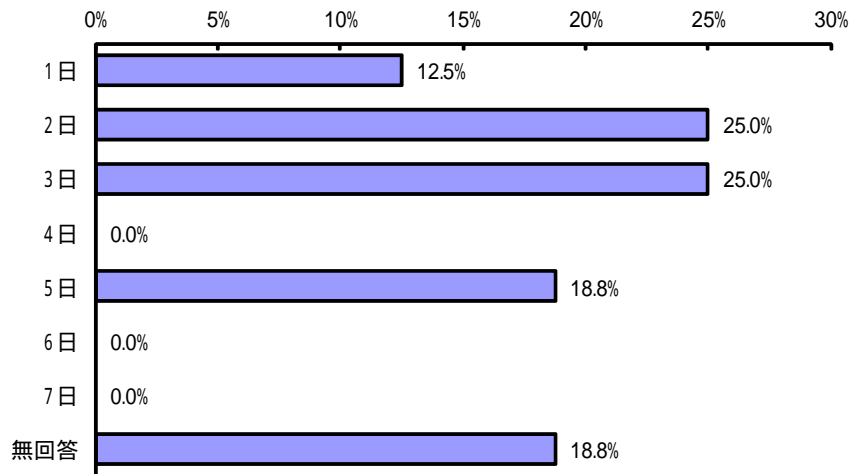
今後の利用意向は、「今後も利用しない」81.3%、「利用したい」10.3%である。

「利用したい」人の、週当たりの利用日数は、「2日」「3日」次に「5日」「1日」、1日当たりの利用時間は「2時間」「3時間」、利用開始時刻は「15時」、終了時刻は「18時」が主なところである。利用したい学年は、「6年生」が最も多い。



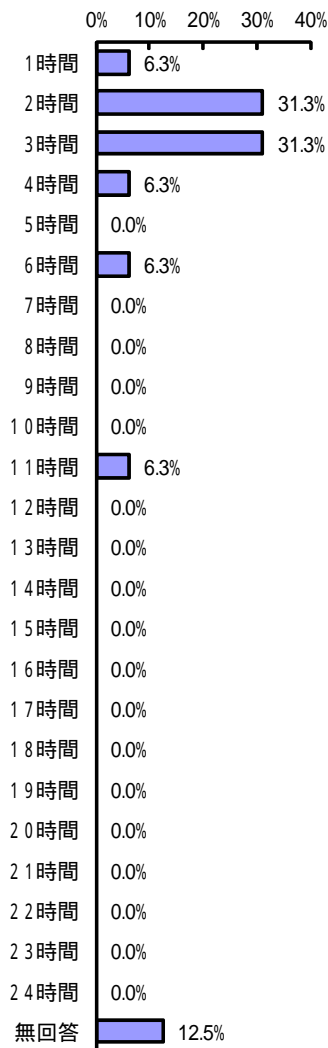
1週当たり利用日数

n=16



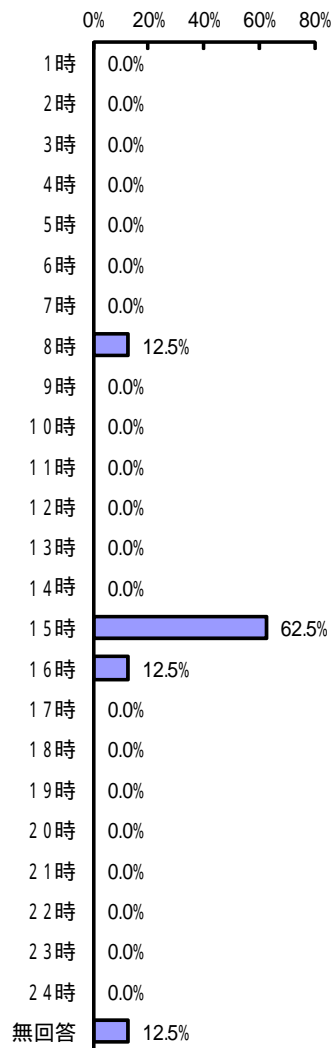
1日当たり利用時間

n=16



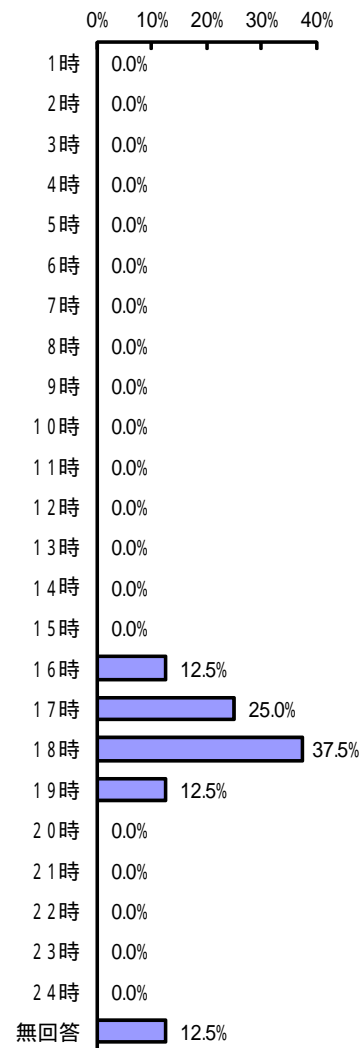
利用開始時刻

n=16

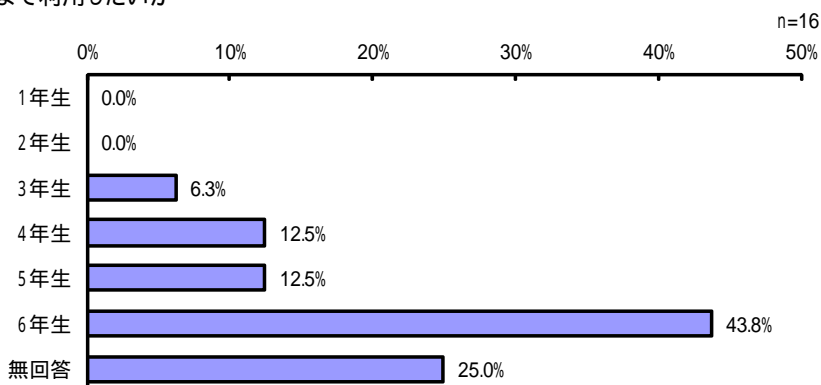


利用終了時刻

n=16



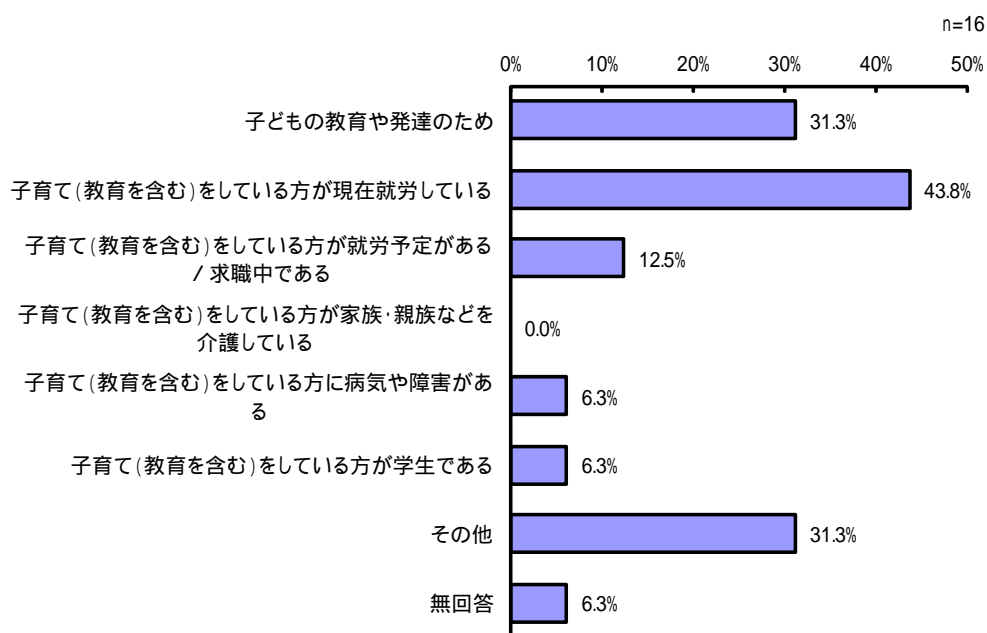
何年生まで利用したいか



問 15-4 で「1. 利用したい」に つけた方にうかがいます。

問 15-5 放課後児童クラブを利用したい理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに つけてください。

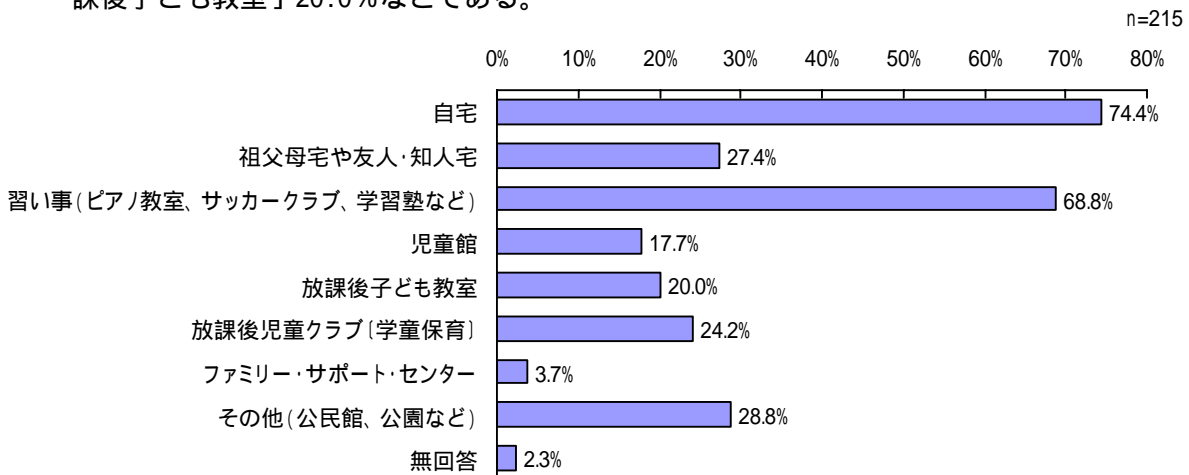
利用したい理由は、「現在就労している」43.8%、「子どもの教育や発達のため」31.3%、「就労予定がある / 求職中である」12.5%などである。



すべての方にうかがいます。

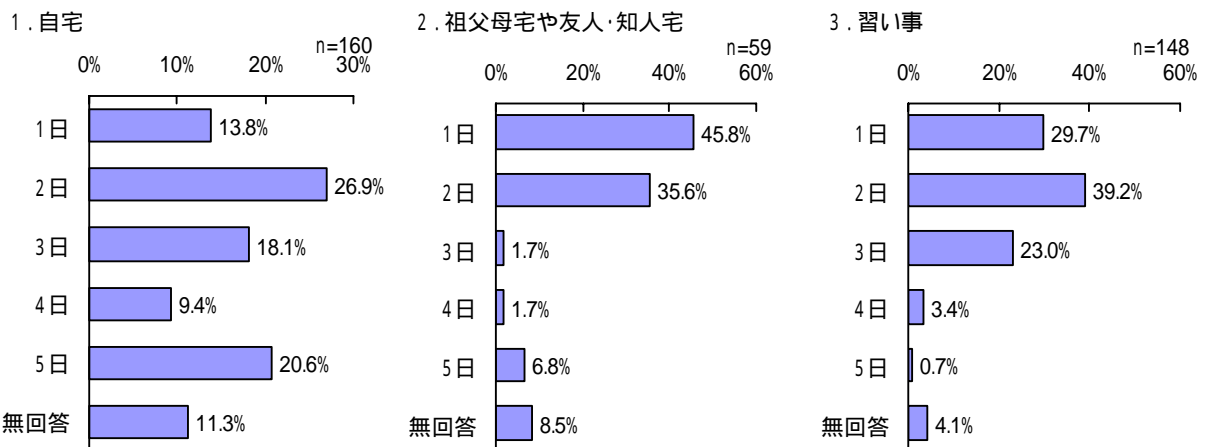
問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時刻は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（現在、鳩山町には無い施設や事業もあります。）

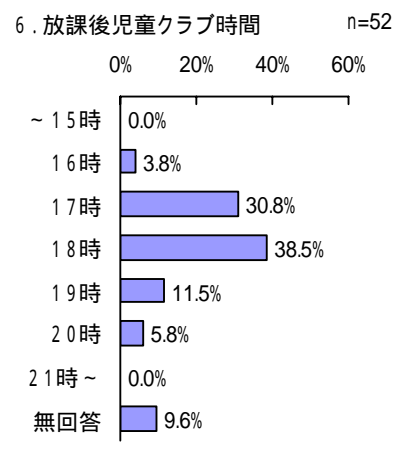
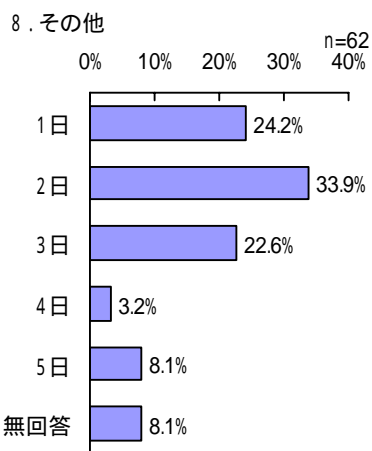
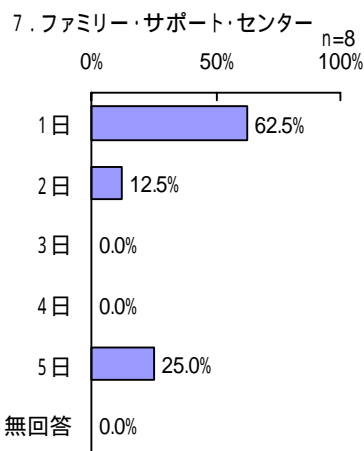
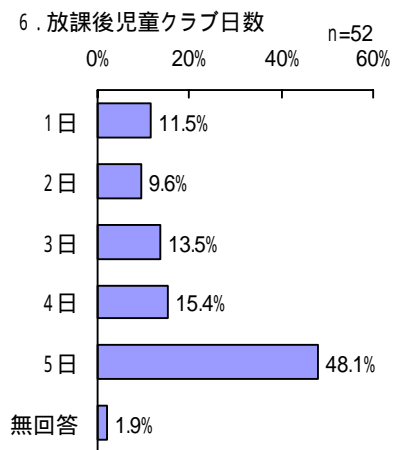
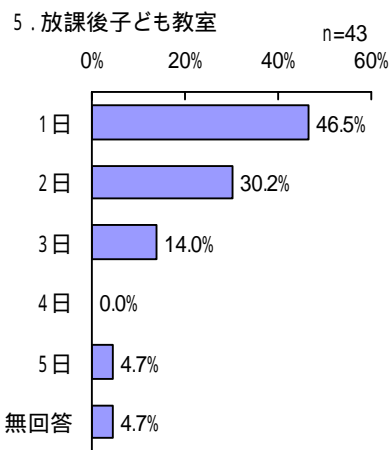
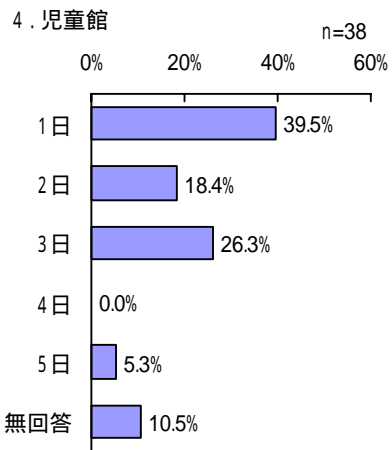
子どもを放課後どのような場所で過ごさせたいかは、「自宅」74.4%、「習い事」68.8%が主なものであり、次いで「祖父母や友人・知人宅」27.4%、「放課後児童クラブ」24.2%、「放課後子ども教室」20.0%などである。



希望する週当たりの日数は、「習い事」は「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」は「放課後子ども教室」「児童館」「ファミリー・サポート・センター」は「1日」、「放課後児童クラブ」は「5日」がそれぞれ最も多い。

なお、「放課後児童クラブ」の利用時刻は下校時から「18時」までが最も多く、次いで「17時」などである。





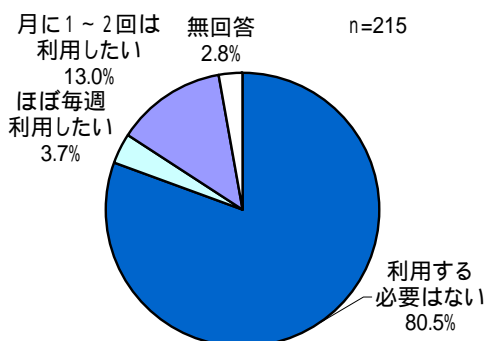
## 5 . 土曜・休日や長期休暇中の定期的な放課後児童クラブの利用について

問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な放課後児童クラブの利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

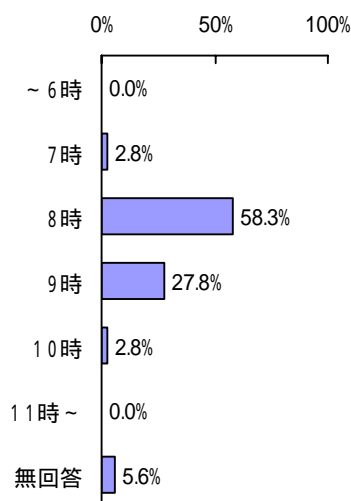
放課後児童クラブについて、土曜日と日曜日・祝日の利用希望について聞いた。

土曜日については、「利用する必要はない」が80.5%で最も多く、「月に1～2回は利用したい」13.0%、「ほぼ毎週利用したい」3.7%である。希望の開始時刻は「8時」次に「9時」、終了時刻は「18時」次に「19時」などの順である。

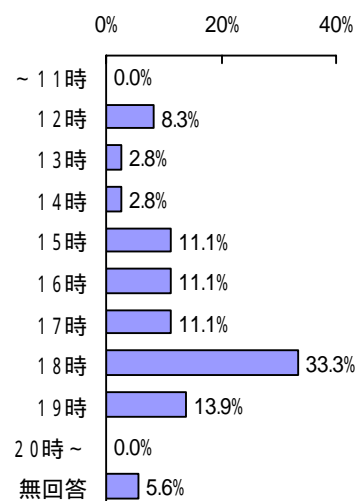
### 土曜日の利用希望



(1) 開始時刻 n=36



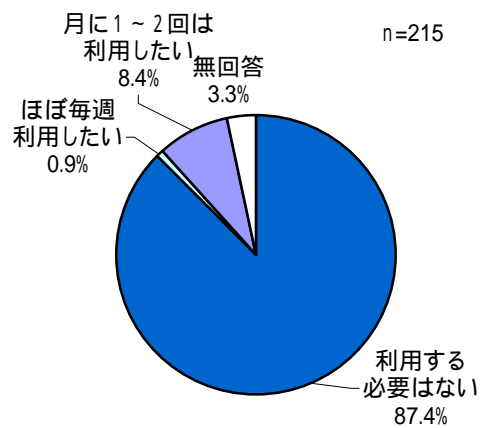
(1) 終了時刻 n=36



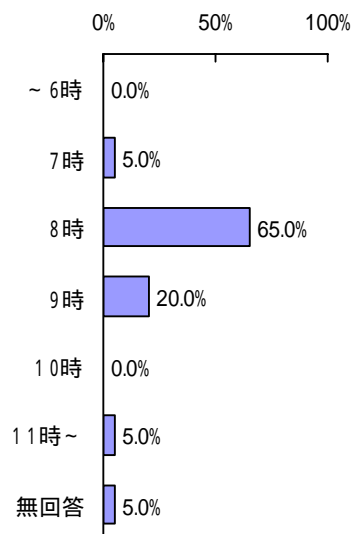


日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が87.4%、「月に1～2回は利用したい」8.4%、「ほぼ毎週利用したい」0.9%である。希望の開始時刻は「8時」次に「9時」、終了時刻は「18時」次に「15時」「17時」などの順である。

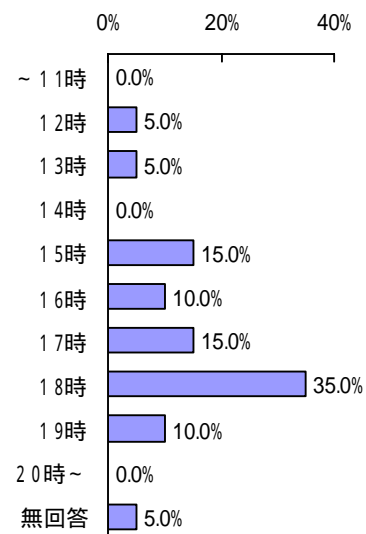
### 日曜日・祝日の利用希望



(2) 開始時刻 n=20



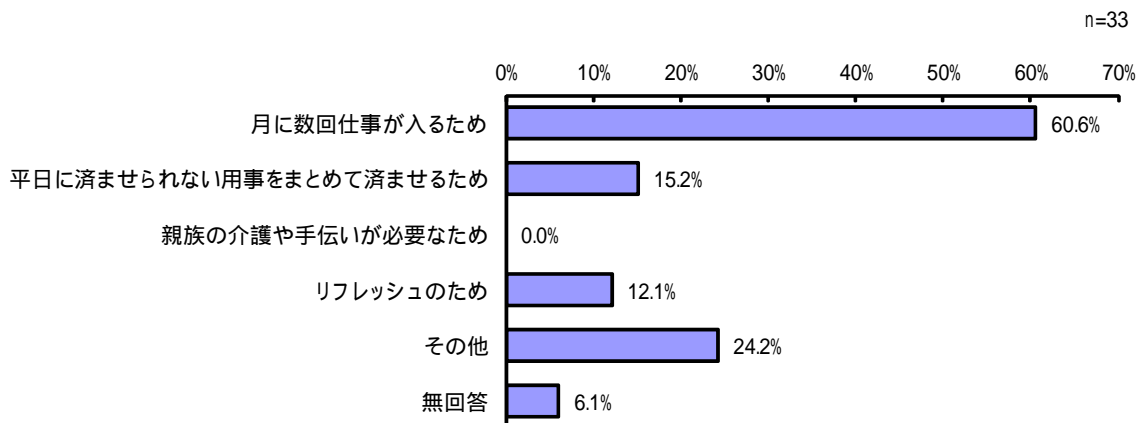
(2) 終了時刻 n=20



問 17 の ( 1 ) もしくは ( 2 ) で、「3.月に 1 ~ 2 回は利用したい」に つけた方にか  
がいます。

問 17-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに つけて  
ください。

土曜日及び日曜・祝日の利用において、毎週ではなく「月に 1 ~ 2 回利用したい」とした  
理由を聞いた。「月に数回仕事が入るため」60.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて  
済ませるため」15.2%、「リフレッシュのため」12.1%などである。

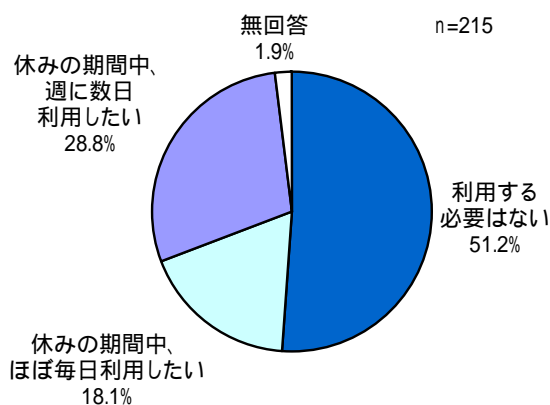


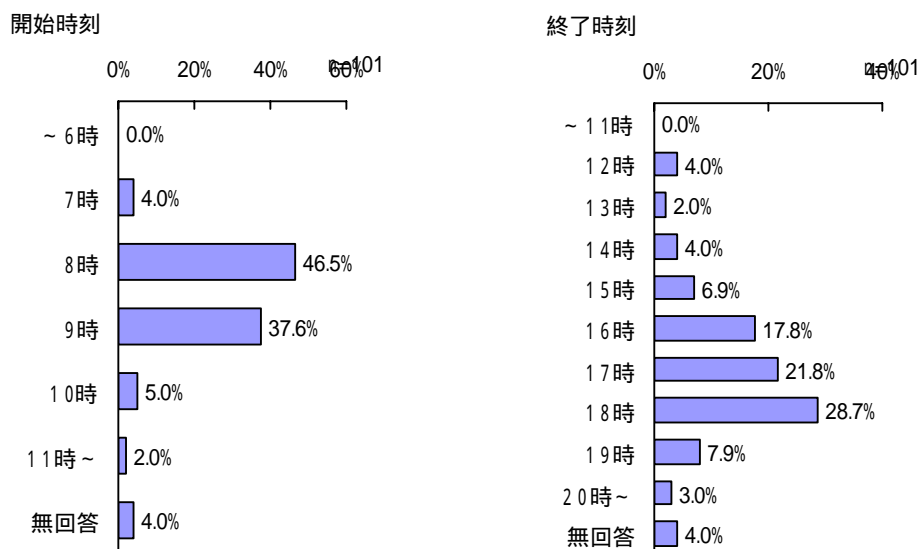
すべての方にかがいます。

問 18 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利  
用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9 時 ~ 1 8 時のよう  
に 2 4 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発  
生します。

夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」  
51.2%、「休みの期間中、週に数日は利用したい」28.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用し  
たい」18.1%である。

希望の開始時刻は「8 時」次に「9 時」、終了時刻は「18 時」次に「17 時」などである。



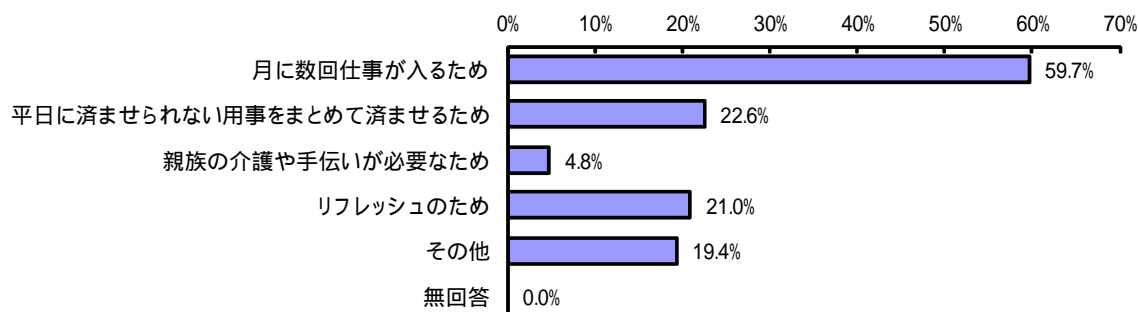


問 18 で、「3.休みの期間中、週に数日利用したい」に をつけた方にうかがいます。

問 18-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

長期休暇中の利用において、毎週ではなく「月に1～2回利用したい」とした理由を聞いた。「月に数回仕事が入るため」59.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」22.6%、「リフレッシュのため」21.0%、「親族の介護や手伝いが必要なため」4.8%などである。

n=62

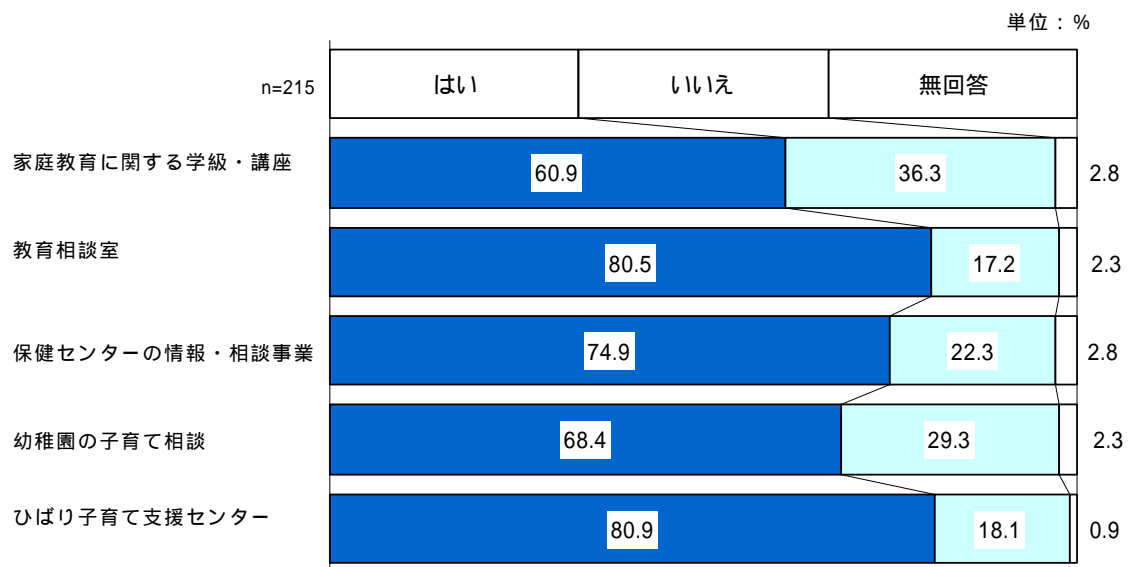


**問 19** 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。～の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかにをつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

各種事業の認知

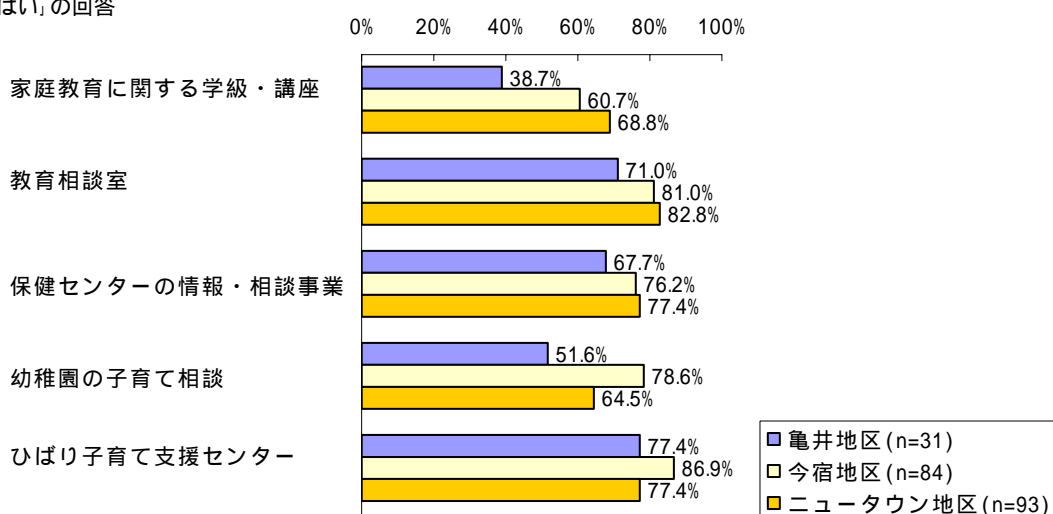
各種事業を知っているかどうかについては、知っているとする「はい」は「ひばり子育て支援センター」80.9%、「教育相談室」80.5%、「保健センターの情報・相談事業」74.9%などの順である

地区別にみると「家庭教育に関する学級・講座」や「幼稚園の子育て相談」などは亀井地区が他地区を下回る。



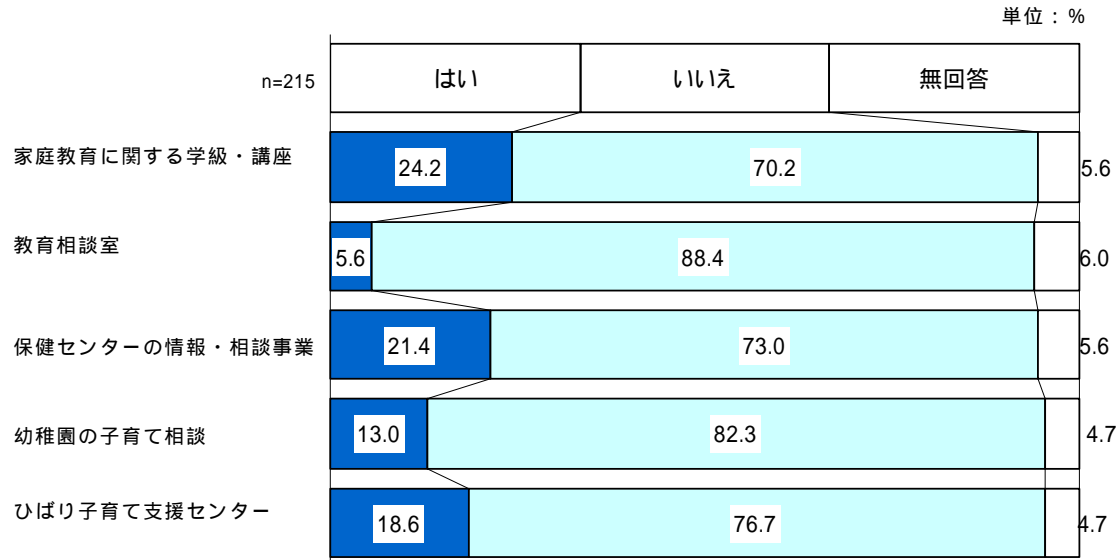
〔地区別〕

「はい」の回答



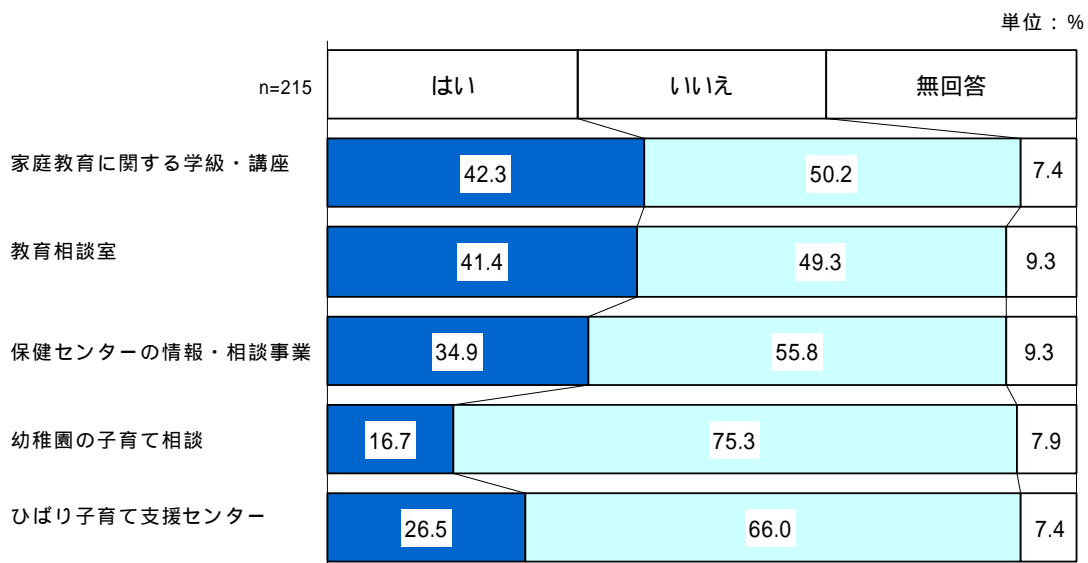
### 各種事業の利用経験

これまでに利用したことがあるかどうかとなると「はい」は、「家庭教育に関する学級・講座」の24.2%が最も多く、次いで「保健センターの情報・相談事業」21.4%である。「教育相談室」はわずか5.6%となっている。



### 各種事業の利用希望

今後、利用したいかどうかについて「はい」は、「家庭教育に関する学級・講座」42.3%、「教育相談室」41.4%、「保健センターの情報・相談事業」34.9%、「ひばり子育て支援センター」26.5%、「幼稚園の子育て相談」16.7%である。

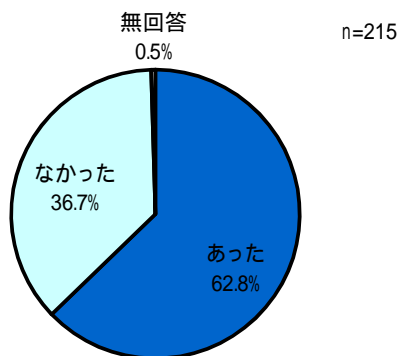


## 6. 病気の際の対応について

すべての方にうかがいます。

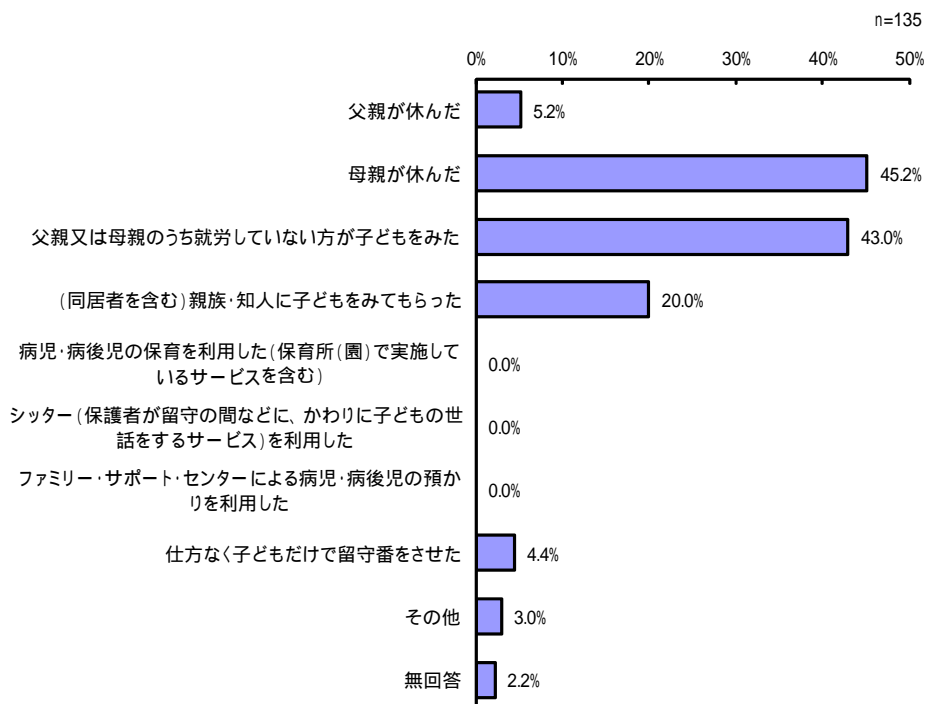
**問 20 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。**

子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」は 62.8%、「なかった」36.7%である。

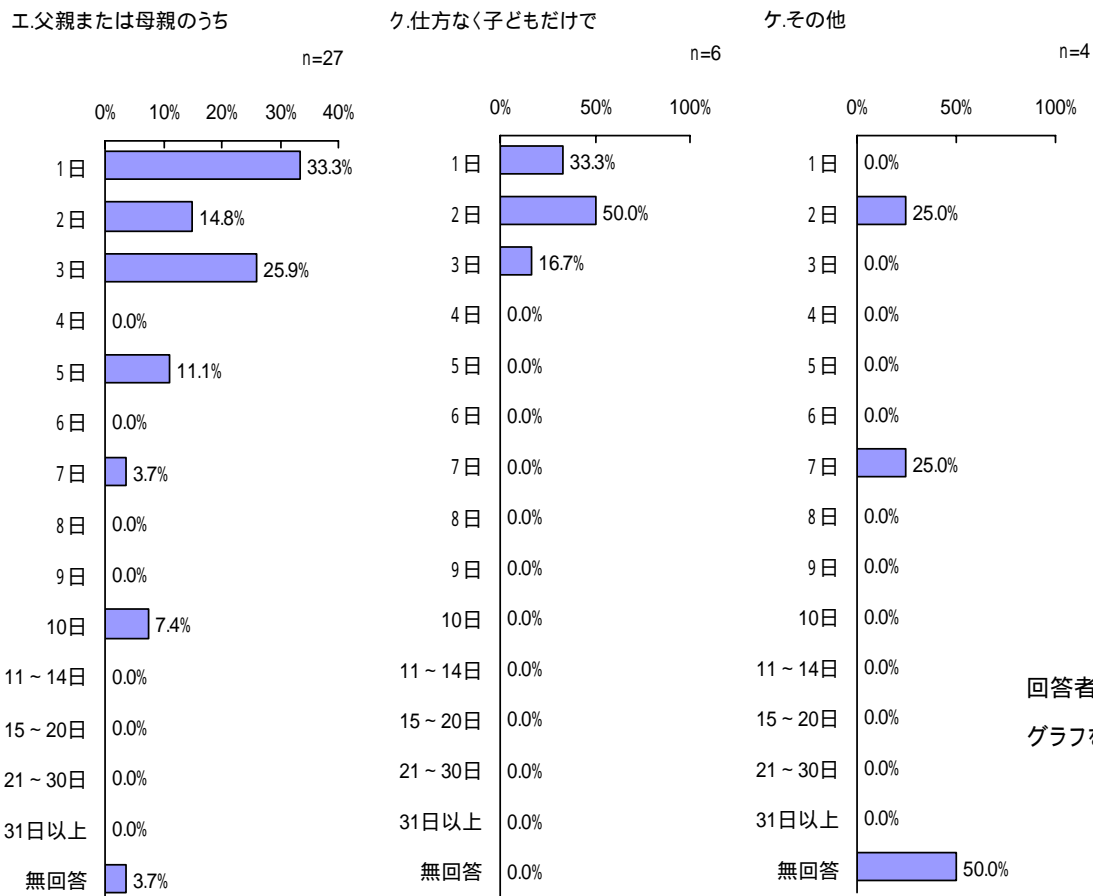
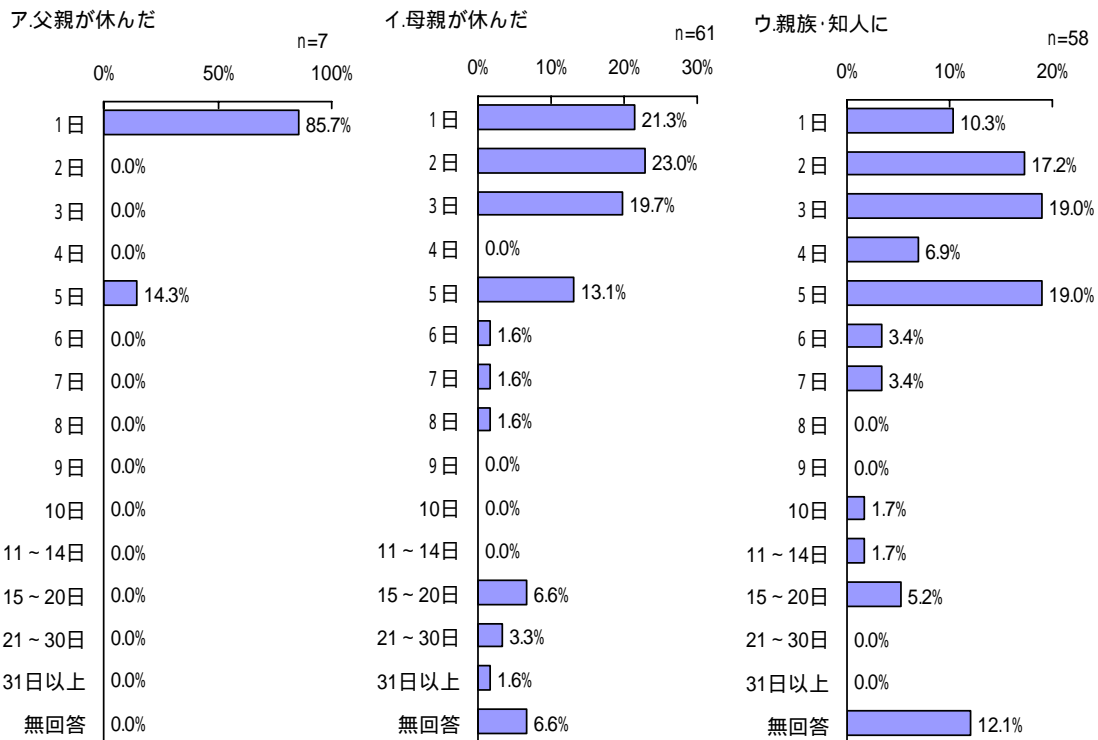


**問 20-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに をつけ、それぞれの日数も( )内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)**

学校を休まなければならないことが「あった」とした人に、その対処方法を聞いたところ、「母親が休んだ」45.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」43.0%、「親族・知人に子どもをみてもらった」20.0%などが主なものである。



それぞれの日数は、「母親が休んだ」は「2日」「1日」「3日」の順であり、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は「3日」「5日」次に「2日」「1日」、「親族・知人にみてもらった」は「1日」「3日」などである。

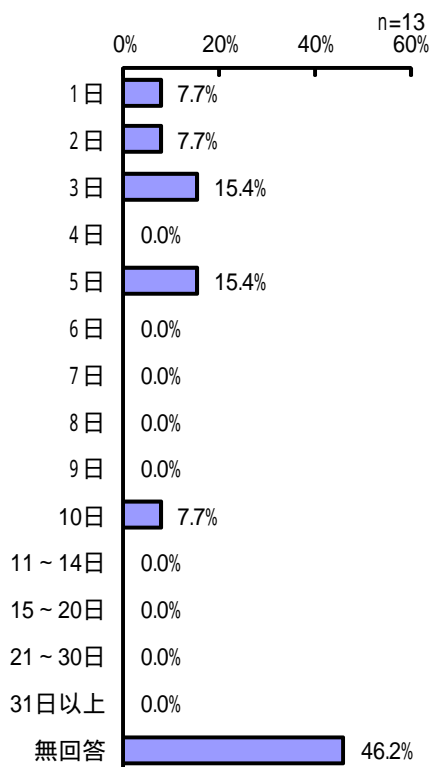
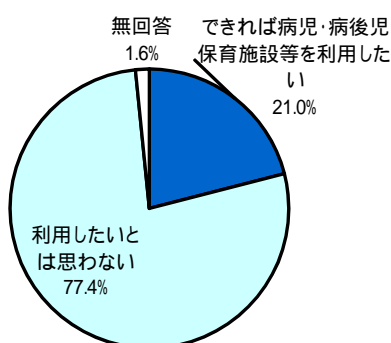


問 20-1 で「ア.」または「イ.」のいずれかに をつけた方にうかがいます。

問 20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに をつけ、日数についても( )内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。〔利用料(ひばり保育園)：小学校1年生～3年生 2,000円/1日〕

「父親が休んだ」「母親が休んだ」とした人に、病時・病後児のための保育施設等の利用について聞いたところ、「できれば病時・病後児保育施設等を利用したい」は 21.0%にとどまり、「利用したいと思わない」は 77.4%である。1年間の利用希望日数は、「3日」「5日」次に「1日」「2日」「10日」である。

n=62

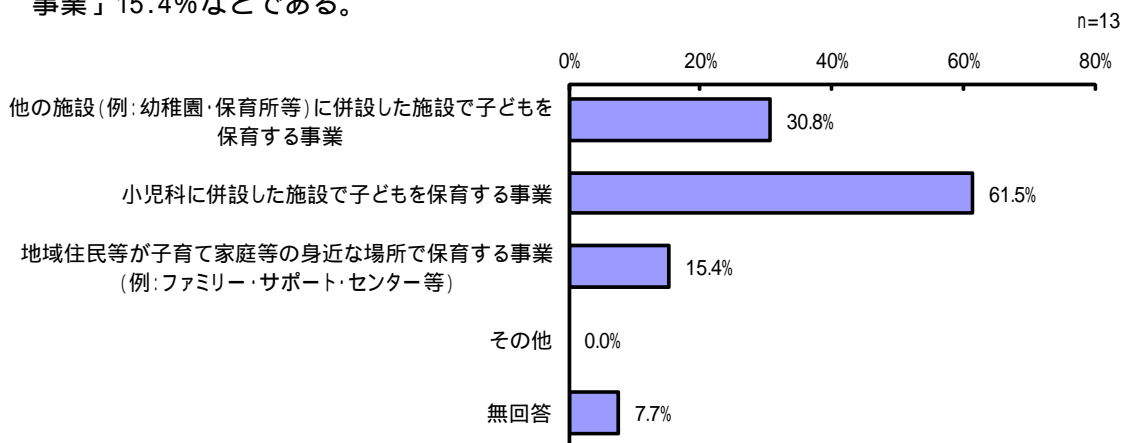




問 20-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に をつけた方にうかがいます。

問 20-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

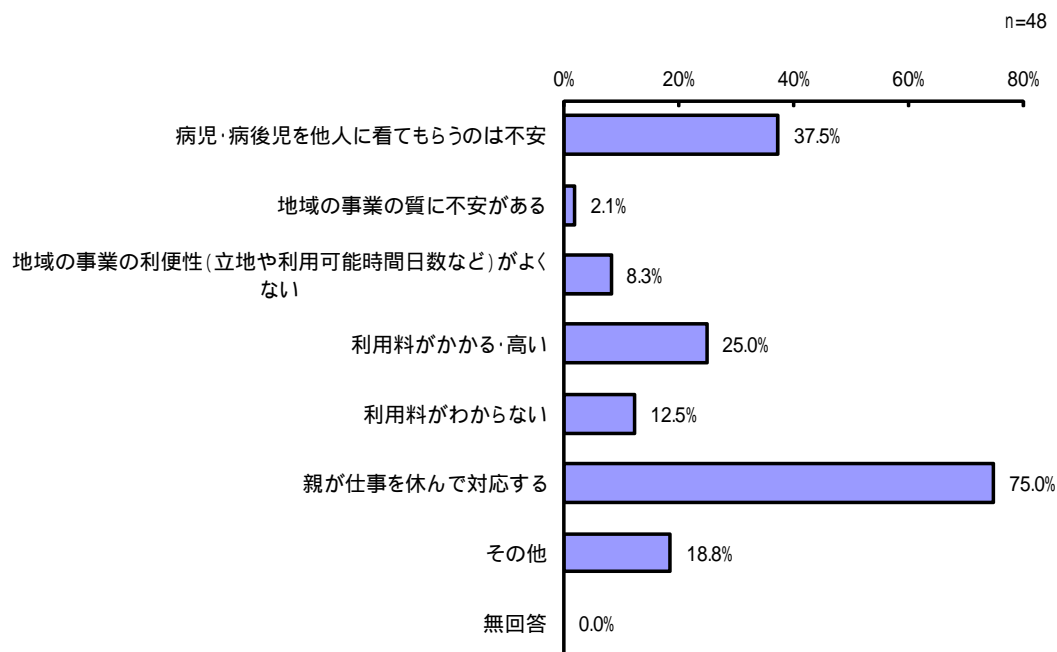
「できれば病時・病後児保育施設等を利用したい」とした人に、望ましい事業形態を聞いたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」61.5%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」30.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」15.4%などである。



問 20-2 で「2.利用したいと思わない」に をつけた方に伺います。

問 20-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに をつけてください。

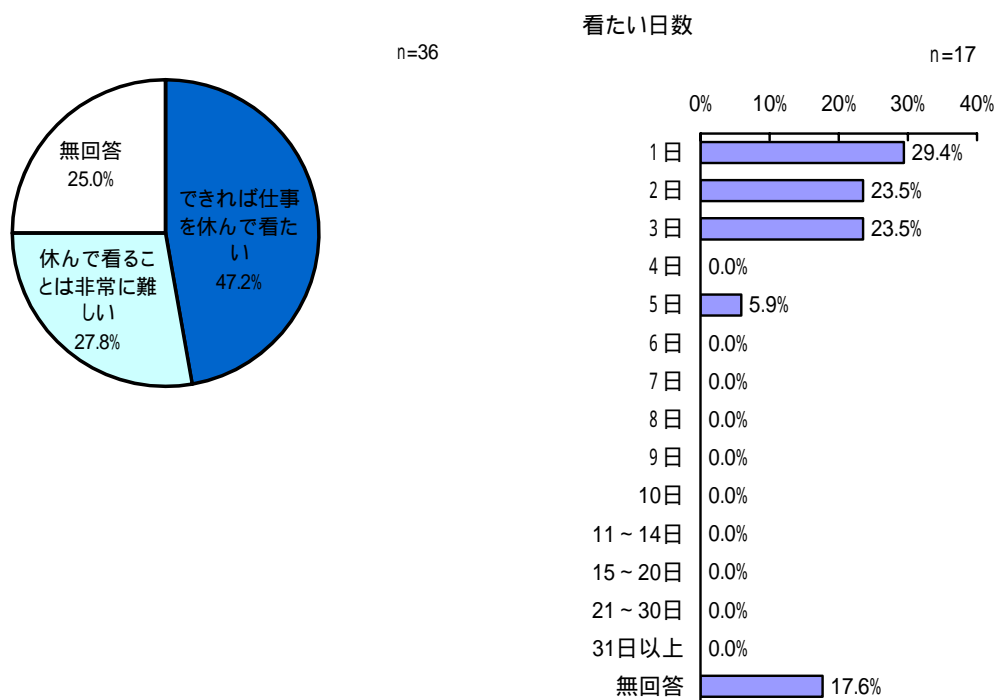
病時・病後児のための保育施設等を「利用したいと思わない」とした人に、その理由聞いたところ、「親が仕事を休んで対応する」75.0%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」37.5%、「利用料がかかる・高い」25.0%などである。



問 20-1 で「エ。」から「ケ。」のいずれかに つけた方にうかがいます。

問 20-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに つけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

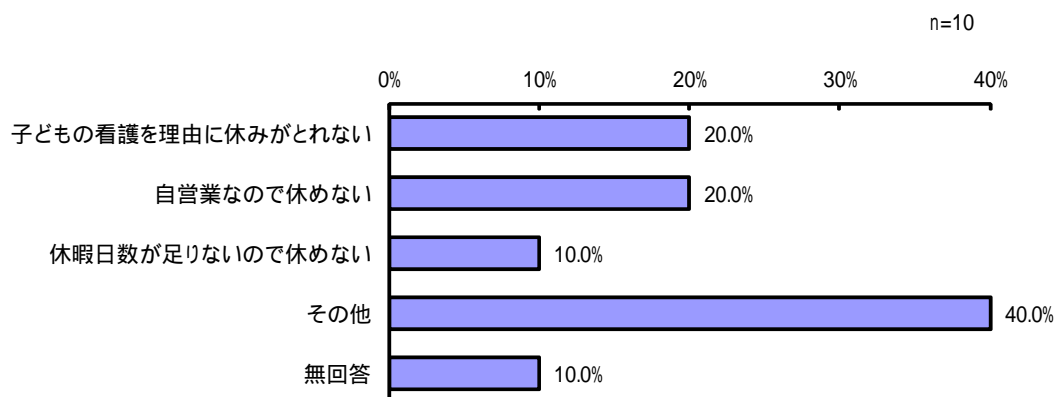
「できれば仕事を休んで看たい」が47.2%と半数近く、「休んで看ることは非常に難しい」27.8%である。日数としては、「1日」29.4%、「2日」「3日」各23.5%などである。



問 20-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に つけた方にうかがいます。

問 20-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに つけてください。

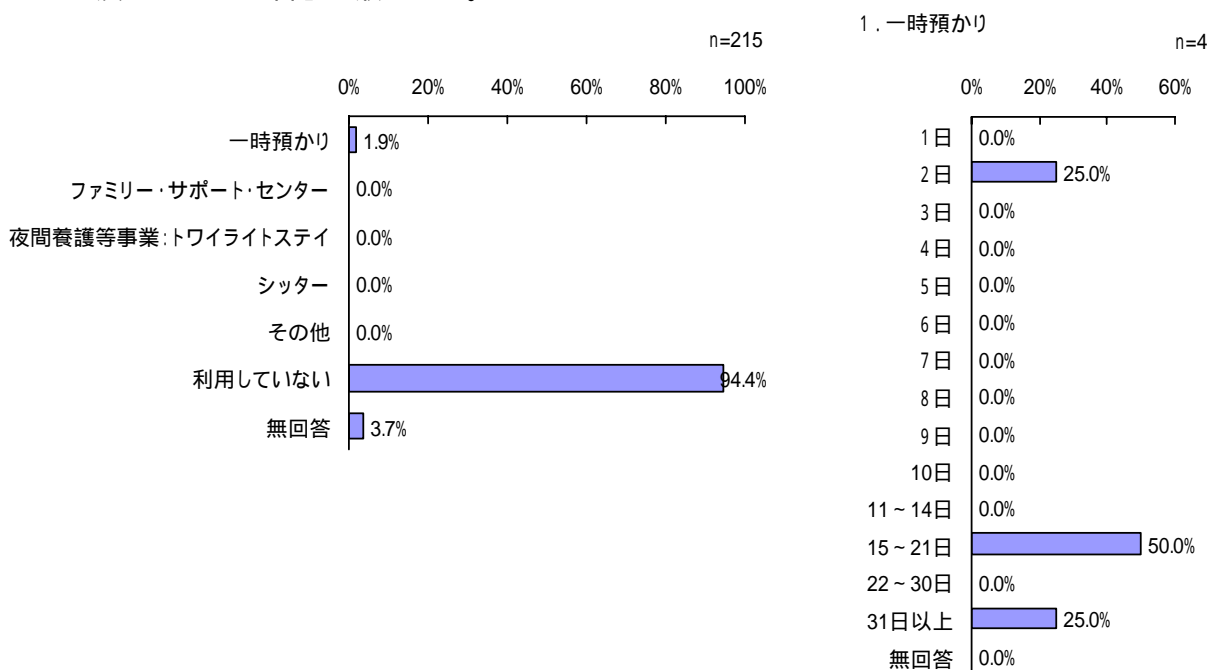
「休んで看ることは非常に難しい」とした人に、その理由を聞いたところ「その他」が多いものの、「子どもの看護を理由に休みがとれない」「自営業なので休めない」がともに20.0%、「休暇日数が足りないので休めない」10.0%である。



## 7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不  
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる  
番号すべてに をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入くだ  
さい。

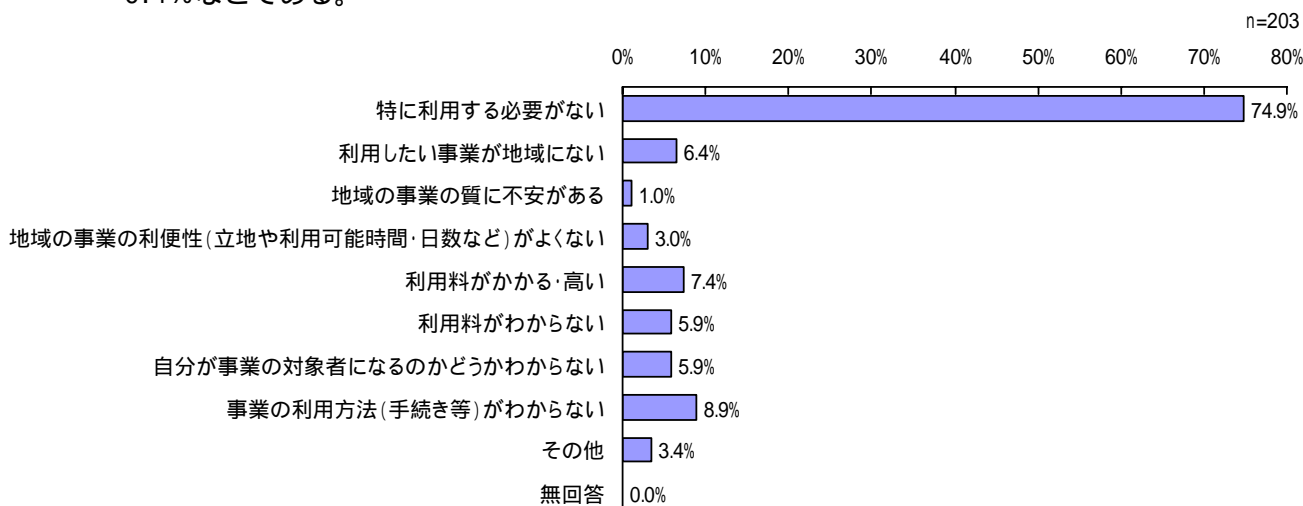
不定期の利用事業は、「一時預かり」の1.9%のみであり、「利用していない」が94.4%  
ある。「一時預かり」の年間利用日数は、「10日」が最も多く、「1日」「2日」「4日」「8日」  
「15～21日」が同率である。「幼稚園の預かり保育」は、「10日」「15～21日」「11～14日」  
及び「22～30日」の順である。



問 21 で「7. 利用していない」に をつけた方にうかがいます。

問 21-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」74.9%が最も多く、「事業の利用  
方法がわからない」8.9%、「利用料がかかる・高い」7.4%、「利用したい事業が地域にない」  
6.4%などである。

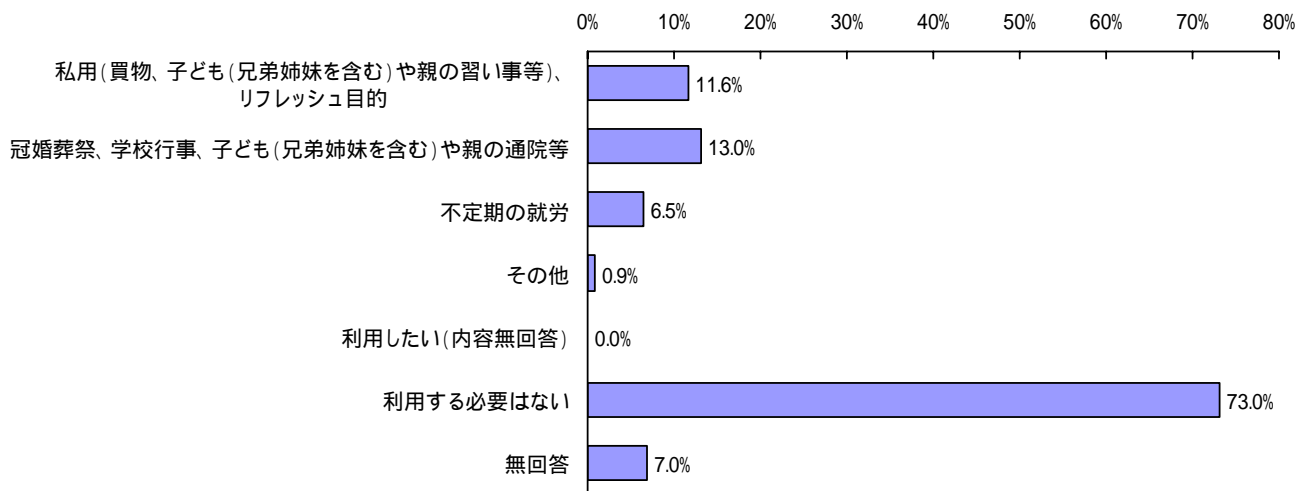


すべての方にうかがいます。

**問 22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当ではまる番号・記号すべてに をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。**

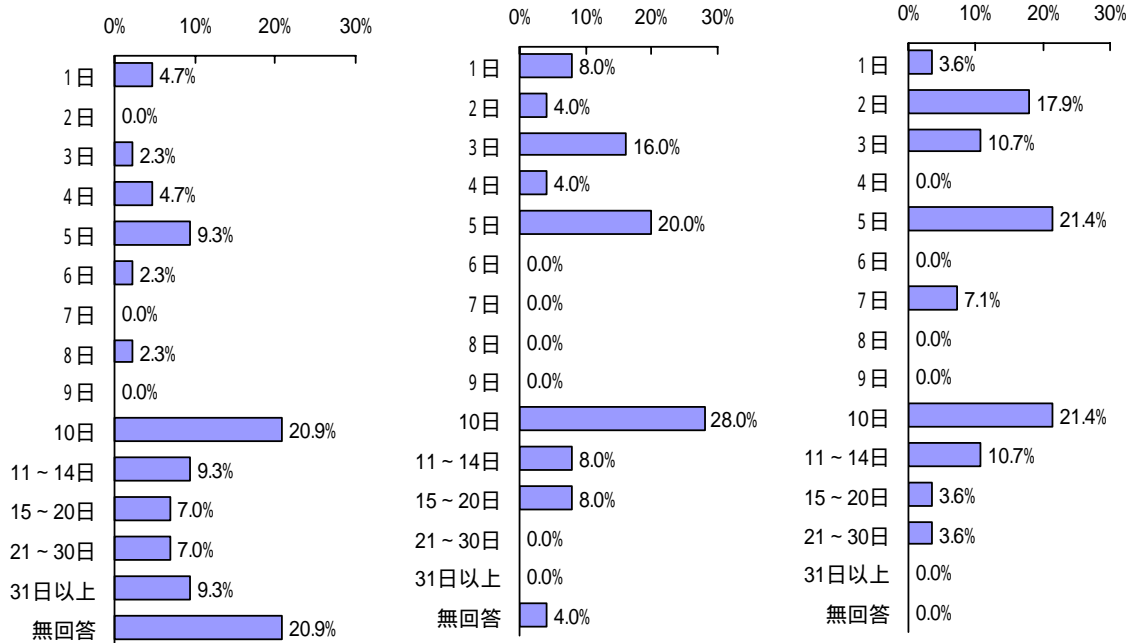
利用意向については、「利用する必要はない」が 73.0%である。その目的は「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」13.0%、「私用や親のリフレッシュ目的」が 11.6%、「不定期の就労」6.5%となっている。

n=215



利用したい全体日数は、「10日」が最も多く、「冠婚葬祭、学校行事」は「5日」「10日」、「私用や親のリフレッシュ目的」は「10日」、「不定期の就労」は「31日以上」がそれぞれ最も多い。

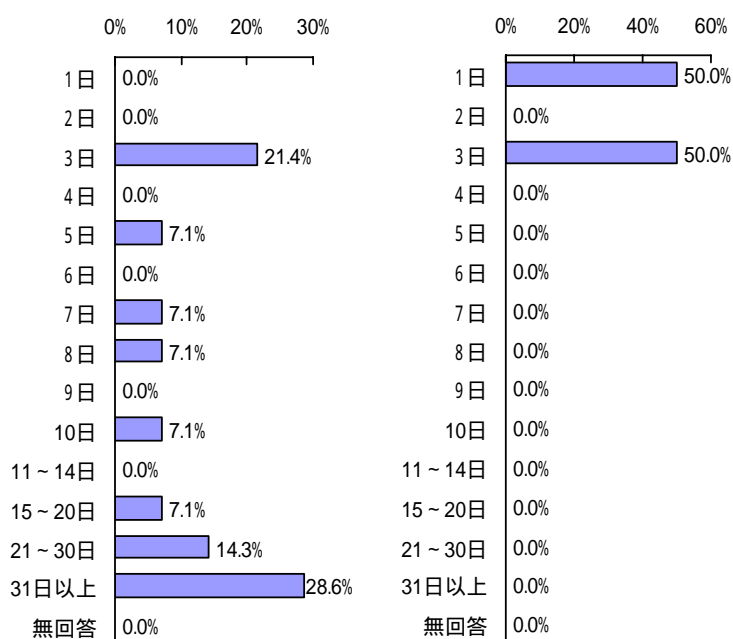
全体日数 n=43      ア. 私用、リフレッシュ目的 n=25      イ. 冠婚葬祭、学校行事 n=28



ウ. 不定期の就労

n=14 エ. その他

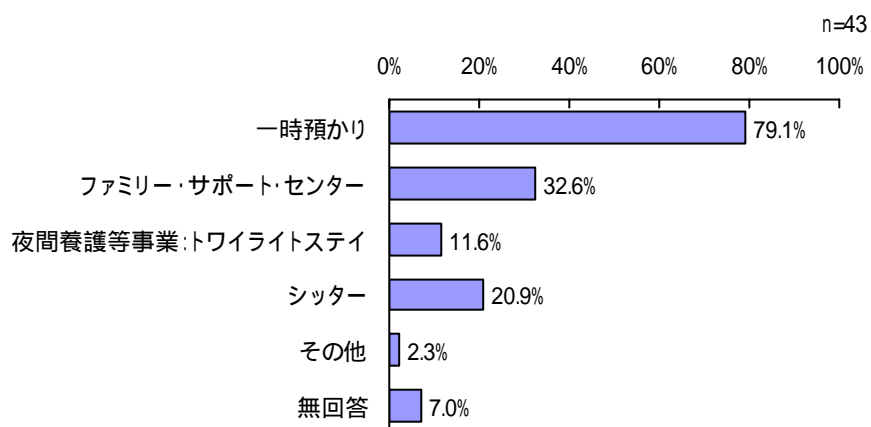
n=2



問 22 で「1.利用したい」に をつけた方にうかがいます。

問 22-1 問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われる  
すか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

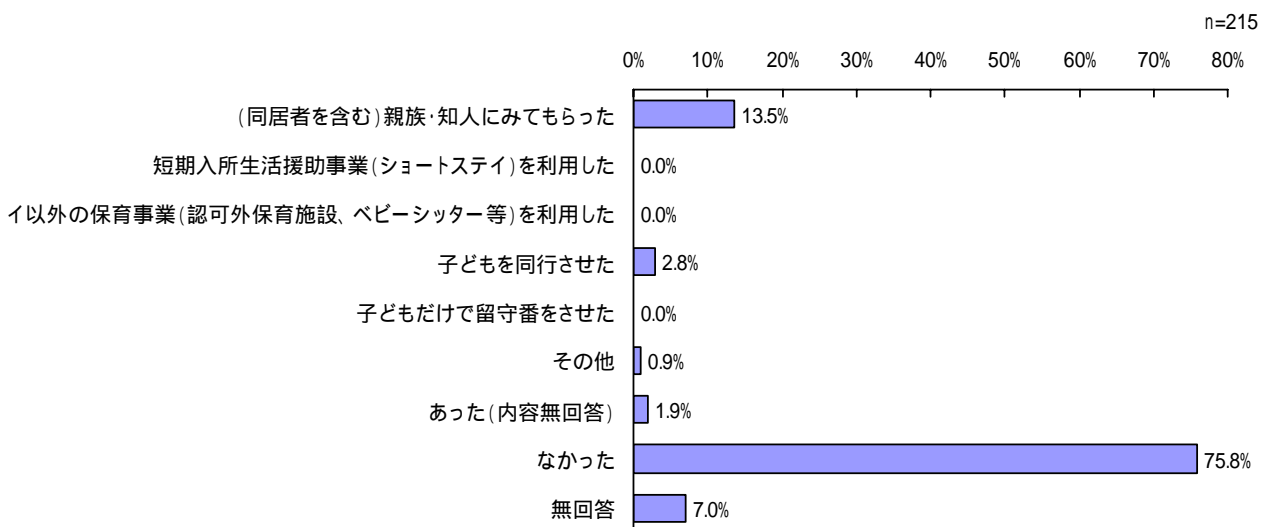
私用、親の通院、不定期就労等の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「一時預かり」が 79.1%、「ファミリー・サポート・センター」32.6%、「シッター」20.9%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」11.6%である。



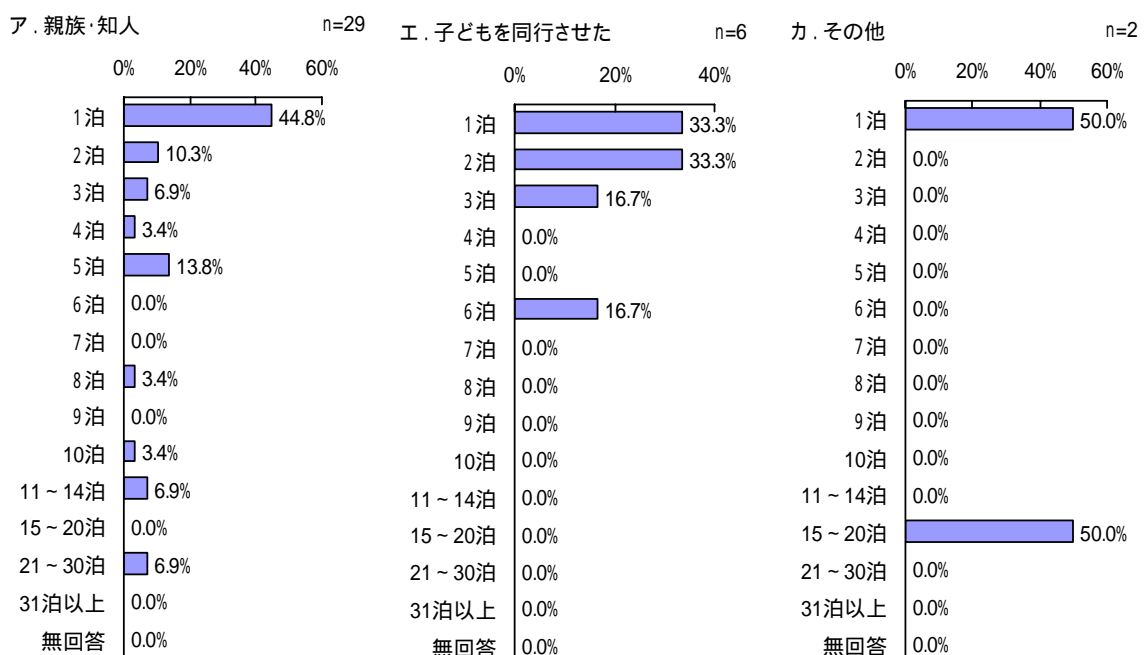
すべての方にうかがいます。

**問 23** この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに をつけ、それぞれの日数も( )内に数字でご記入ください。

用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことについては、「なかった」が75.8%、「あった」は17.2%である。その内訳は、「親族・知人にみてもらった」13.5%、「子どもを同行させた」2.8%である。



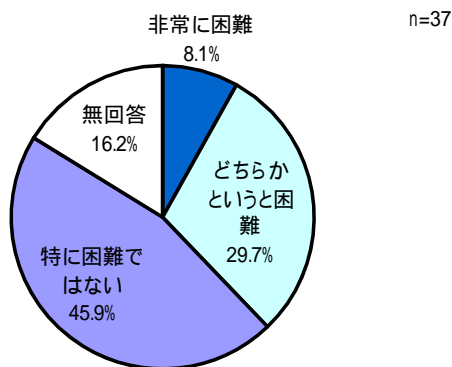
日数は、「親族・知人にみてもらった」は「1泊」が最も多く次に「5泊」「2泊」などである。「子どもを同行させた」は「1泊」「2泊」が多い。



問23で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に つけた方のうちがいます。ア以外を選択した方は、問24へお進みください。

**問23-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに つけてください。**

「親族・知人にみてもらった」人にその困難度を聞いたところ、「特に困難ではない」45.9%、「どちらかという困難」29.7%、「非常に困難」が8.1%である。

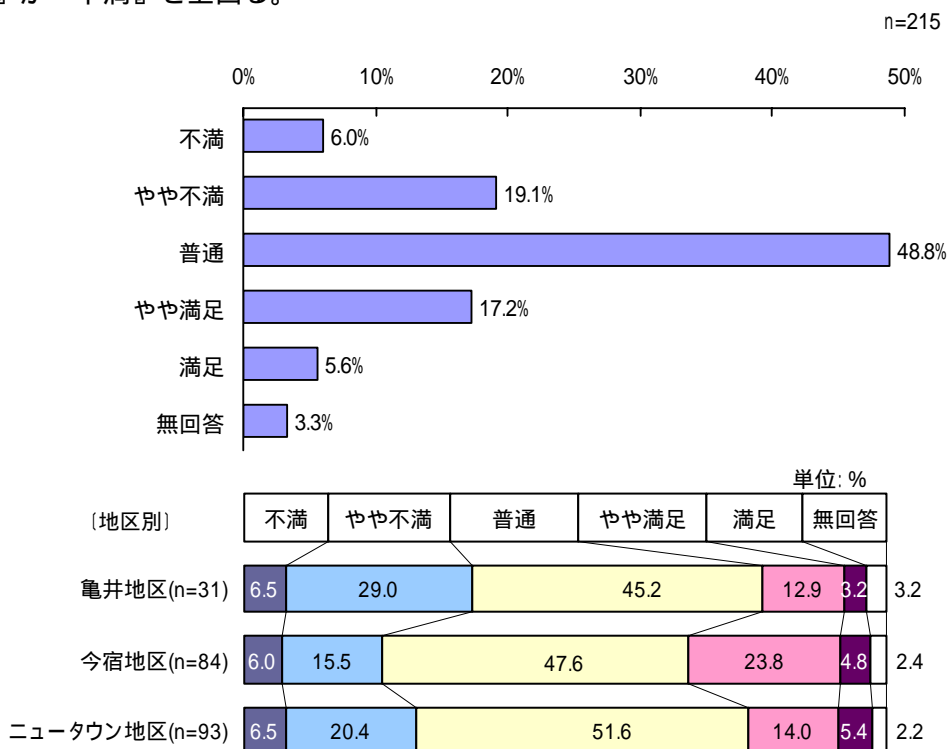


**問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに つけてください。**

子育ての環境や支援への満足度は、「普通」が48.8%、「やや不満」19.1%、「やや満足」17.2%、「不満」6.0%、「満足」5.6%の順となっている。

「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』25.1%が「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』22.8%をやや上回る。

地区別では『満足』は今宿地区28.6%、ニュータウン地区19.4%、亀井地区16.1%、『不満』は亀井地区35.5%、ニュータウン地区26.9%、今宿地区21.5%である。今宿地区のみ『満足』が『不満』を上回る。



**問 25 本町が行っている子育て支援の情報提供について何を望みますか。**

主な意見の抜粋

- ・最新の情報をわかりやすく公平に誰もが利用できるように。
- ・HP やメールサービス、月刊情報誌のPDF化など。
- ・広報などで情報は得ているつもりなので、今のところはないです。
- ・学校を通して配布されるものは必ず目を通すので、子育て世代に情報を発信するには、有効だと思う。
- ・同じ内容でも定期的に、具体的に子育て支援の情報を提供してほしい。どんな支援があるのかもわからないような気がするため。
- ・不用品の交換ができる場があるといいと思う。子どもの洋服や小物、学用品等、これから必要な家庭と不必要な家庭が公的に交流できるといいと思う。

**問 26 最後に、満足度をアップさせるために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して充実して欲しいことは何ですか。ご自由にご記入ください。**

主な意見の抜粋

〔子どもの遊び場や居場所づくり〕

- ・放課後や長期休みのとき、小学生が集まれる場所があればいいと思う。宿題をみたり、スポーツを教えたり、話ができるなどのサポートができる人は町内にたくさんいると思う。有償であればやってくれる人がいるのでは。高齢者のことばかり手厚い気がする。町からの入学祝い金や何か目玉になるものをつくっても、町外にむけてアピールになっていいと思う。
- ・旧松栄小をもっと役立てて欲しい。子どもが雨が降っていても楽しく遊べるように鳩山町にも児童センターを作って欲しい。夏休みは外は暑すぎてあまり遊べないので、室内で遊べる施設を考えて欲しいです。

〔学力向上など学校教育の充実〕

- ・基本的に高齢者の方へ力を入れていて、子育てには非常に消極的な町全体の考え方を変えないと何も始まらない。まずは、トップの方がその意識を持っていただかないと鳩山町は子どもがいない町、いつかはそうになってしまう。子どもがしっかりした教育を受けられる中学校の部活動をふやして充実した環境をつくってほしい。
- ・教育に対して、他の市町村では土曜日（月1日出）や始業式など早めたり、給食もギリギリまでとなってきたところ、近くの市町であるにもかかわらず、鳩山町ではどう考えているのでしょうか？学力もそうですが、一つ一つじっくり教わる時間もなく、すぐ他へ進んでしまう今の授業形態をどう考えているのでしょうか？今のままで大丈夫なのでしょうか？



〔休日・緊急時の預かりサービスの充実〕

- ・保育園や幼稚園など子どもが小さい時はとても環境の良い鳩山だったと感じました。ただ小学校入学してからは、放課後預けられる場所はなく、上の兄弟の子の用事や、学校行事などに連れて行く現状に、少し大変さもあり、小学校低学年までは預けられる場所があるといいなと思う時もありました。
- ・24時間で子どもを預けられる所。(緊急でどうしても子どもを同伴できない場合などで)土日祝日もやっている所。

〔登下校時の支援や見守り〕

- ・通学に際して、集合場所まで車で送迎しており、就労時間が制約されてしまいます。スクールバスを通す、路線バスを利用しても良い等、対策していただければありがたいです。学童は就労している、いないに関わらず、誰でも無料で利用できるといいなと思います。
- ・子どもが下校途中に、車が急に曲がってきたのにビックリして、顔にケガをして帰ってきました。子ども達が下校する時間帯に、何か地域で取組みができたらと思いました。

〔子育てしやすい環境の整備〕

- ・今宿小までの通学路の歩道の整備。
- ・児童館や子ども教室などあると利用したいです。今宿、小用方面の公園の遊具も老朽化しており、早くに新しい魅力のある遊具の取付けをお願いしたい。砂場にも猫のフンがあったりするので、柵をつけたりと、小さな子どもにも安心して遊べるようにしてほしいです。

〔経済的支援の充実〕

- ・毎年冬になるとインフルエンザが流行するので予防接種(2回分)が少しでも金額の負担が安くなるといいなと思います。
- ・医療費を窓口支払いしなくていい病院を拡大してほしい。パパママショップの優遇の拡大をしてほしい。